

令和元年度文部科学省委託業務

令和元年度文部科学省における基本的な政策の立案・評価に関する調査研究  
（成果を測ることが難しい分野への EBPM 的手法を導入する際に  
有用となるデータ採取及び分析方法等について）  
調査報告書

令和2年3月



一般社団法人知識流動システム研究所

令和元年度文部科学省における基本的な政策の立案・評価に関する調査研究  
(成果を測ることが難しい分野へのEBPM的手法を導入する際に  
有用となるデータ採取及び分析方法等について)  
報告書

## 目次

<b>1. 調査分析の概要</b> .....	<b>3</b>
1.1 調査分析の目的.....	3
1.2 調査分析の内容・方法.....	3
1.2.1 追跡調査の実施.....	3
1.2.2 施策の効果を測定することが難しい分野における効果的なデータの収集・分析、効果検証の在り方に関する調査・提案.....	6
1.2.3 最終報告書の取りまとめ.....	6
1.3 調査分析の体制.....	7
<b>2. EBPMのためのプログラム評価の枠組み</b> .....	<b>8</b>
2.1 ロジックモデル.....	8
2.2 評価項目.....	10
2.2.1 評価対象としてのプログラムの全体における位置づけ.....	10
2.2.2 評価項目と必要な情報.....	11
2.3 調査・分析・評価手法.....	12
<b>3. 国内外の追跡評価手法の好事例等の調査</b> .....	<b>14</b>
3.1 国内の追跡評価手法の好事例.....	14
3.2 海外の追跡評価手法の好事例等の調査.....	15
<b>4. 「EDGEプログラム/EDGE-NEXT」事業の追跡調査</b> .....	<b>17</b>
4.1 ロジックモデルと本調査の位置づけ.....	17
4.1.1 「EDGEプログラム/EDGE-NEXT」事業の特徴.....	17
4.1.2 プログラム・ロジックモデル.....	18
4.1.3 プロジェクト・ロジックモデルとコンピテンシー.....	19
4.1.4 ロジックモデルと本調査の位置づけ.....	25
4.2 追跡調査のデザインと実施.....	25
4.2.1 アンケート調査.....	25
4.2.2 ヒアリング調査.....	27
4.3 追跡調査の結果.....	28
4.3.1 アンケート調査.....	28
4.3.2 ヒアリング調査.....	35
<b>5. 調査結果からの示唆：「EDGE-NEXT」事業の改善及びその他の政策・施策への適用可能性を見据えた提案</b> .....	<b>49</b>

5.1 「EDGE-NEXT」事業の改善課題.....	49
5.1.1 事業の論理構造.....	49
5.1.2 事業の必要性・位置づけ.....	51
5.1.3 事業のプロセス.....	52
5.1.4 事業のインパクト.....	55
5.2 教育や人材育成分野の施策における EBPM の実現に向けた課題と提案.....	62
5.2.1 事業の企画・立案段階からの事業評価計画の立案.....	62
5.2.2 教育や人材育成分野の施策におけるデータ収集・分析のあり方.....	63
5.2.3 データ収集・分析のあり方：「EDGE プログラム／EDGE-NEXT」事業を事例に.....	66
<b>6. 資料.....</b>	<b>67</b>
6.1 図表リスト.....	67
6.2 EDGE 修了生および EDGE-NEXT 受講生・修了生向けアンケート回答フォーム.....	69
6.3 EDGE 修了生および EDGE-NEXT 受講生・修了生向けアンケート簡易集計結果.....	83
6.4 図表（一部拡大掲載）.....	101

## 6. 資料

### 6.1 図表リスト

表 1-1	追跡調査・評価の国内外の先行事例	5
表 2-1	調査・分析・評価法の一覧	13
表 2-2	フェーズごとの構成要素	13
表 3-1	各評価視点に関する Key Questions	14
表 3-2	全米ナノテク・イニシアティブ ナノスケール科学・工学プログラム における 評価項目	16
表 4-1	人材育成施策の類型と「EDGE プログラム/EDGE-NEXT」事業の位置づけ	17
表 4-2	ロジックモデル（人材育成に関わるプロジェクトレベル）作成・利用方針（案）	19
表 4-3	「EDGE プログラム/EDGE-NEXT」事業 教育・人材育成により 獲得が期待 できる理想的なコンピテンシー（仮説）	21
表 4-4	受講生の目標	21
表 4-5	外的変化（行動）として想定できるもの	22
表 4-6	阻害要因として考えられるもの	24
表 4-7	ロジックモデルに基づいた受講生アンケートのデザインの基本方針	26
表 4-8	受講生アンケートの項目	26
表 4-9	ヒアリング概要（実施順、敬称略）	28
表 4-10	受講生の受講に際しての目標と受講後の達成状況（アンケート結果）	29
表 4-11	コンピテンシーの必須項目の重要度（アンケート結果）	30
表 4-12	人脈・ネットワークの広がり（アンケート結果）	31
表 4-13	受講後の内的変化について（アンケート結果）	31
表 4-14	「外的変化」（行動）について（アンケート結果）	32
表 4-15	阻害要因（アンケート調査結果）	33
表 4-16	促進要因について（アンケート結果）	33
表 4-17	必要な支援について（アンケート結果）	34
表 5-1	欧州委員会による SMART 基準	62
表 5-2	教育や人材育成分野の施策において効果測定調査にあたって留意すべき点	64
表 5-3	ロジックモデルに基づいた追跡調査（受講生アンケート等）のデザインの基本 方針	65
図 1-1	大学発ベンチャー創出に関するロジックモデル（成果目標）	4
図 2-1	標準的なロジックモデル	9
図 2-2	プログラムの位置づけ	10
図 3-1	PS-OC Program の Logic Model	16
図 4-1	「EDGE プログラム/EDGE-NEXT」事業のプログラムレベルのロジックモ デル	18

図 4-2 「EDGE プログラム/EDGE-NEXT」事業のプロジェクトレベルのロジックモデル (案) .....	20
図 4-3 人材育成における「リニア・モデル」と .....	23
図 4-4 因果ループ図の提案 (例) .....	24
図 4-5 立命館大学におけるアントレプレナーシップ養成講座の概要 .....	35
図 5-1 内的変化スコアと外的変化スコアの相関関係 .....	57
図 5-2 因果ループ図 (本調査をもととした仮説) .....	59
図 5-3 年代 (性別) .....	60
図 5-4 目標 (性別) .....	60
図 5-5 受講による内的変化 (性別) .....	61
図 5-6 受講による外的変化 (性別) .....	61

## EDGE修了生およびEDGE-NEXT受講生・修了生向けアンケート（2020年2月実施）

### ■アンケートの目的

文部科学省による「グローバルアントレプレナー育成促進事業」（EDGEプログラム、2014（平成26）年度～2016（平成28）年度）は、我が国におけるイノベーション創出の活性化のため、大学等の研究開発成果を基にしたベンチャーの創業や、既存企業による新事業の創出を促進する人材の育成と関係者・関係機関によるイノベーション・エコシステムの形成を目的としていました。

また、「次世代アントレプレナー育成事業」（EDGE-NEXT、2017（平成29）年度～）は、EDGEプログラムに採択された大学をはじめ、これまで各地の大学で取り組まれてきたアントレプレナー教育で得られた成果や課題を踏まえて、大学等の研究開発成果を基にした起業や新事業創出に挑戦する人材の育成、関係者・関係機関によるベンチャー・エコシステムの構築を目的としています。

本調査は、EDGE/EDGE-NEXTプログラムを通じて行われたアントレプレナーシップ教育について、プログラム受講から数年たった現在、受講者にどのような効果をもたらしているかを可視化し、プログラムの改善や新たな支援策の開発につなげることを目的として、文部科学省が下記事業者に委託し、実施するものです。

- すべての質問に回答するための想定所要時間は約10分間です。
- ご回答締め切りは、2020年2月19日（水）20:00です。
- 可能な限り、すべての質問にご回答ください。
- 最後の設問に回答後「完了」ボタンをクリックすると、回答が送信されます。ご注意ください。
- いただいたご回答はすべて上記の目的のためにのみ使用し、それ以外に用いられることは一切ありません。
- ご回答データは個人情報保護の観点に充分留意して管理運用を行います。
- なお、ご回答者の中から別途、インタビューにご協力をお願いすることもあります。

お忙しい中とは存じますが、本調査の趣旨をご理解の上、ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

【本調査に関するお問い合わせ先（委託先）】

一般社団法人知識流動システム研究所

TEL : 080-9389-0028 / E-mail : kms-org@smips.jp

EDGE修了生およびEDGE-NEXT受講生・修了生向けアンケート（2020年2月実施）

< 1 > あなた自身について教えてください。

1. 現在のご所属および肩書 \* 任意

ご所属

肩書

2. 氏名 \* 任意

\* 3. メールアドレス

\* 4. 年齢

20歳以下  20～24歳  25～29歳  30～39歳  40～49歳  50歳以上

\* 5. 性別

男性  女性  その他

\* 6. 国籍

日本  それ以外  答えたくない

\* 7. 居住地域（プルダウンからお選びください）

\* 8. 専門分野（すべてについてお答えください）

① 人文科学  ② 社会科学  ③ 理学  ④ 工学  ⑤ 農学  ⑥ 医学・歯学  ⑦ 薬学  ⑧ 家政学  ⑨ 教育

⑩ 芸術

その他(具体的に)

\* 9. 受講大学（初回受講時）

\* 10. プログラム受講期間（初回受講時の年度）

11. 受講大学（2回目の受講がある方のみ（任意回答））

12. プログラム受講期間（2回目の受講がある方のみ、その年度（任意回答））

\* 13. 現在の職業（すべてについてお答えください）

①学生（学部）

⑤大学教員

⑩企業管理職

②学生（大学院修士課程）

⑥団体職員

⑪企業経営者・役員

③学生（大学院博士課程）

⑦企業一般職

⑫個人事業主

④ポストク、研究員

⑧企業研究職

その他（具体的に）

\* 14. 受講開始時に取得していた学位（すべてについてお答えください）

①学士

④専門職学位（法務博士、教育修士、その他専門職修士等）

②修士

⑤受講段階では学位なし（学部生）

③博士



EDGE修了生およびEDGE-NEXT受講生・修了生向けアンケート（2020年2月実施）

< 2 > 受講当時の目標等についてお聞かせください。

\* 15. 受講に際し、以下の何を目標にしていましたか？

	① 主要な目標だった	② 目標の1つだった	③ 目標ではなかった
起業家となること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
企業内アントレプレナーとなること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
イノベティブな発想力を持った研究者となること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
アイデア創出ができる技術者となること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
起業家を支援する専門家となること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

「その他」を選択された方は、具体的な目標をお聞かせください。

\* 16. <2> Q15. の目標達成に向けて学ぶ場として、EDGE/EDGE NEXT以外の選択肢はありましたか？  
(1つだけ選択)

- あった  
 なかった

17. <2> Q16. の設問で「あった」と回答された方は、その選択肢を具体的にお教えください。

EDGE修了生およびEDGE-NEXT受講生・修了生向けアンケート（2020年2月実施）

< 3 > 受講によって、以下のどの点を学ぶことができましたか？

\* 18. A : アントレプレナー精神

	①そう思う	②ややそう思う	③どちらでもない	④あまりそう思わない	⑤そう思わない
強い信念	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
強力なリーダーシップ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
新事業創出への意欲	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
産業構造変革への意欲	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自身が持つ可能性の認識	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
リスクを受け入れる態度	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

\* 19. B : イノベーティブな発想力

	①そう思う	②ややそう思う	③どちらでもない	④あまりそう思わない	⑤そう思わない
斬新な発想力	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
幅広い知識	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
柔軟な思考力	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
デザイン思考力	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
市場の機会を発見する力	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
課題発見・解決能力	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

\* 20. C : 経営戦略立案・ビジネスモデル構築力

	そう思う	ややそう思う	どちらでもない	あまりそう思わない	そう思わない
経営ビジョンを最適化する力	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
組織構築力	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
資金調達力	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
危機管理能力	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

\* 21. D : 国際的な思考力、競争力

	①そう思う	②ややそう思う	③どちらでもない	④あまりそう思わない	⑤そう思わない
英語によるコミュニケーション力	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
グローバルな視野	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
多国籍人材によるチーム構築力	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

\* 22. E : エンゲイジメントと社会的責任感

	①そう思う	②ややそう思う	③どちらでもない	④あまりそう思わない	⑤そう思わない
様々なセクターや企業等とのネットワーク構築力	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
社会への発信力	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
高い倫理観と価値観	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
国内外のアントレプレナー人脈・ネットワークへの参画	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

23. 上記A～E以外の項目で、受講によって学んだことがあれば、教えてください（自由記述）。

EDGE修了生およびEDGE-NEXT受講生・修了生向けアンケート（2020年2月実施）

< 4 > 受講によって得た人的つながりや変化についてお聞きします。

\* 24. 受講によって、以下の人との人的なつながりは広がりましたか？

	①大いに広がった	②広がった	③あまり広がらなかった	④全く広がらなかった	⑤わからない
ベンチャーキャピタル やエンジェル投資家	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
銀行・信用金庫の所属 者	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
大企業の所属者	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
様々な分野の企業の所 属者	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
弁護士、税理士、会計 士、弁理士等の専門家	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
先輩起業家	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
将来の起業家候補	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ベンチャー企業への就 職希望者	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
イノベティブな発想 力を持った研究者・技 術者	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ベンチャー企業の支援 活動を行う者（イン キュベーター）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
地域内の様々な分野の 人	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
海外から起業を支援し てくれる人	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

\* 25. 受講によって、以下のどの点で変化がありましたか？

【参考：〈2〉Q15.での『当初の目標』選択肢】

- 1) 起業家となること
- 2) 企業内アントレプレナーとなること
- 3) イノベティブな発想力を持った研究者となること
- 4) アイデア創出ができる技術者となること
- 5) 起業家を支援する専門家となること
- 6) 明確な目標は持っていなかった
- 7) その他

	①そう思う	②ややそう思う	③どちらでもない	④あまりそう思わない	⑤そう思わない
〈2〉Q15. で回答した目標の強化・明確化ができた	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
〈2〉Q15. で回答した目標の達成に向けた意欲が向上した	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
〈2〉Q15. で回答した目標の達成に向けて必要な知識・スキル・態度（コンピテンシー）が習得できた	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
〈2〉Q15. で回答した目標の達成に向けた人脈が形成できた	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
進路の選択肢が広がった	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
国際的な視野が広がった	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
起業は向いていないと感じた	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ベンチャー企業を支援する仕事がしたいと思った	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

EDGE修了生およびEDGE-NEXT受講生・修了生向けアンケート（2020年2月実施）

< 5 > 受講をきっかけとした、あなたの行動についてお聞きします。

\* 26. 受講をきっかけとして、以下の行動を起こしましたか？ 又は、直近で以下の行動を起こす予定がありますか？

	①行った	②行おうとしたができなかった	③半年以内に 行う予定	④1年以内に 行う予定	⑤2～3年以内 に行う予定	⑥行う予定 はあるが具体 的な計画は 立っていない	⑦行う予定は ない
実際に起業した	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
起業の準備を進めた	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ベンチャー企業に就職した	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
企業内で新事業を創出した	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ベンチャー企業を支援する仕事をした	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
イノベーティブなアイデアを創出した	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
国内の人脈やネットワーク等を広げ、交流した	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
国際的な舞台で活躍するようになった	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ビジネスコンテストに応募した	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
特許や実用新案権などを申請した	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
研究成果の事業化の際、課題の解決策を具体的に検討した	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ビジネスプランの課題を整理し、改善ができた	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
MBA等の学位取得を始めた	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
受講前には考えていなかった進路を選択肢とした	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
さらにEDGE-NEXTを受講した	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

その他(具体的に)

\* 27. 〈5〉 Q26. に挙げた項目について、実際に行動を起こそうとした際に、阻害する要因はありましたか？それはなにですか？（すべてについてお答えください）

- ① 習得すべき知識や技術がまだ十分でない
- ②ベンチャー企業への就職や起業は倒産等のリスクが高くて将来が不安だ
- ③事業を一緒に進める仲間（同僚・部下）が足りない
- ④支援資金・資金調達が難しい
- ⑤事業を実現するためのサプライチェーン上の協力相手（原材料の供給者や加工者、流通事業者）が足りない
- ⑥事業の実現にあたって必要な専門家（弁護士、税理士、会計士、弁理士等）とのつながりが足りない
- ⑦時間が足りない
- ⑧特許の取得が困難
- ⑨身近にロールモデルがいないので、将来像が想像できない
- ⑩家族など周囲の理解が得られない
- ⑪実際に行動を起こすにはまだ経験が足りない
- ⑫実際に行動を起こすにはまだ人的なネットワークが足りない
- ⑬学位・資格が足りない
- ⑭海外経験が足りない

\* 28. 〈5〉 Q27. の阻害要因を打破するために必要な支援は何だと思えますか？

	①そう思う	②ややそう思う	③どちらでもない	④あまりそう思わない	⑤そう思わない
資金などの支援	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
より深い知識と経験	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ベンチャーへの就職を 選択肢とする人材のさらなる養成	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ベンチャーキャピタル やエンジェル投資家との 人的なつながり	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
大企業の所属者との人的 なつながり	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
様々な分野の企業の所 属者との人的なつながり	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
弁護士、税理士、会計 士、弁理士等との人的 なつながり	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ロールモデルとなる人 材像、先輩起業家との 人的なつながり	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ベンチャー企業の支援 活動を行う者（イン キュベーター）とのつ ながり	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
地域内の人的なつながり	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
国際的な人的なつながり	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
家族や周囲の理解	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>



\* 29. 〈5〉 Q26. に挙げた項目について、実際に行動を起こそうとした際に、それを後押しすることになった要因はありましたか？（すべてについてお答えください）

- ①資金などの支援
- ②起業・新事業に関する深い知識と経験
- ③ベンチャーへの就職を選択肢とする人材の養成プログラムの存在
- ④ベンチャーキャピタルやエンジェル投資家との人的なつながり
- ⑤大企業の所属者との人的なつながり
- ⑥様々な分野の企業の所属者との人的とのつながり
- ⑦弁護士、税理士、会計士、弁理士との人的なつながり
- ⑧ロールモデルとなる人材像、先輩起業家との人的なつながり
- ⑨ベンチャー企業の支援活動を行う者（インキュベーター）とのつながり
- ⑩地域内の人的なつながり
- ⑪国際的な人的なつながり
- ⑫家族や周囲の理解

\* 30. 以下の点について、現在、達成できていますか？

<2>Q15. で回答した『当初の目標』ではなかったものについても、現在は達成している場合、または、達成を目指している場合は「①達成できている」～「④達成まではまだ遠く、厳しさを感じている」の選択肢からご回答ください。

【参考：〈2〉 Q15.での『当初の目標』選択肢】

- 1) 起業家となること
- 2) 企業内アントレプレナーとなること
- 3) イノベーティブな発想力を持った研究者となること
- 4) アイデア創出ができる技術者となること
- 5) 起業家を支援する専門家となること
- 6) 明確な目標は持っていなかった
- 7) その他

②まだ途上で あるが、達成 ③まだ途上で あるが、努力 ④達成までは まだ遠く、厳  
 ①達成できて いる ⑤達成をあき らめた ⑥目標ではな くなった ⑦目標として いなかった

	①達成できて いる	②まだ途上で あるが、達成 する	③まだ途上で あるが、努力 する	④達成までは まだ遠く、厳 しさを感 じている	⑤達成をあき らめた	⑥目標ではな くなった	⑦目標として いなかった
起業家となること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
企業内アントレプレ ナーとなること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
イノベーティブな発想 力を持った研究者とな ること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
アイデア創出ができる 技術者となること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
起業家を支援する専門 家となること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

上記以外の人材となることに達成している場合、または、達成を目指している場合は、人材像と達成度（「①達成できている」～「④達成まではまだ遠く、厳しさを感じている」）ご記入ください。（自由記述）

31. 〈5〉 Q30. の達成度について、どういった阻害要因・後押しする要因が、ありますか？（自由記述）

< 6 > 事業としてのEDGE/EDGE-NEXTについて、お聞かせください

\* 32. 一般的に、EDGE/EDGE-NEXTのような教育・人材育成に関する事業の長期的な効果を図る上で、過去の受講生・修了生に対する今回のようなアンケートは有効だとおもいますか。（プルダウンから選択）

33. その他、EDGE/EDGE-NEXTについての感想などがございましたらお教えてください。

以上でアンケートは終わりです。  
以下の「完了」ボタンを押すと、回答が送信されます。  
ご協力いただき誠にありがとうございました。

# EDGE修了生およびEDGE-NEXT 受講生・修了生向けアンケート 簡易集計結果

**実施期間: 2020年2月14日～24日**

**全回答数: 52**

2020年2月26日

一般社団法人知識流動システム研究所

## Q1:現在のご所属および肩書 \* 任意

※Q2: 氏名、Q3: メールアドレスの報告は割愛

Answered: 46 Skipped: 6

### 【ご所属】

#### 製造業

- ・食料品製造業
- ・化学工業
- ・業務用機械器具製造業
- ・電子部品・デバイス・電子回路製造業
- ・情報通信機械器具製造業

#### 卸売業・小売業

#### 金融業・保険業

#### 宿泊業、飲食サービス業

#### 学術研究、専門・技術サービス業

#### 生活関連サービス業、娯楽業

#### 教育・学習支援業

#### 医療、福祉

#### サービス業

・・・ほか

### 【肩書】

#### 学部学生

#### 博士後期課学生

#### 学術研究員

#### 特任助教

#### 助教

#### 准教授

#### Chief Science Officer

#### 初期研修医

#### 研修医

#### 医師

#### 教育研究推進員

#### 専任研究員

#### 主任研究員

#### アソシエイト

#### エキスパート

#### エンジニア

#### 主査

#### 課長

#### ライセンスアソシエイト

#### Department of Patholog

#### COO

#### 代表

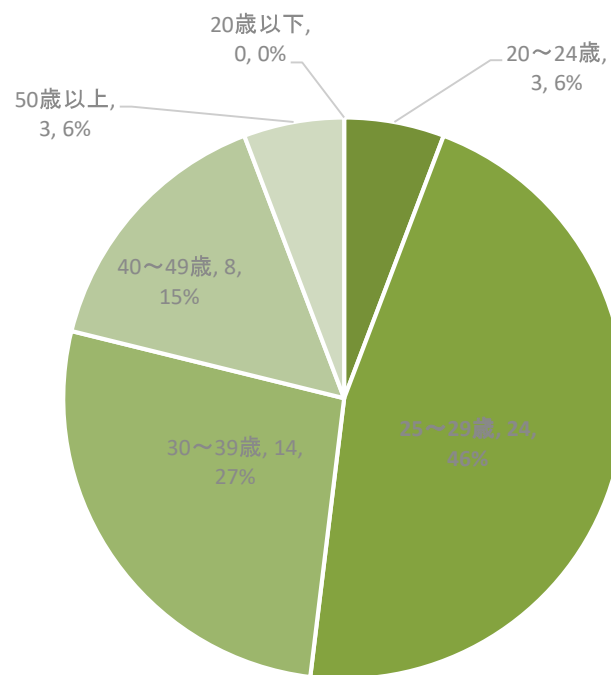
#### 代表取締役CEO

#### 代表取締役

#### 代表理事

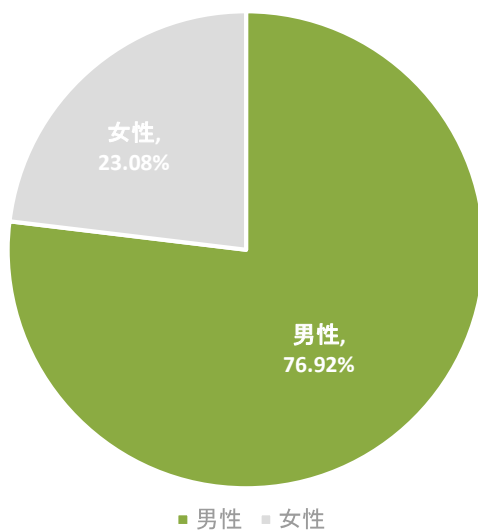
## Q4: 年齢

Answered: 52 Skipped: 0



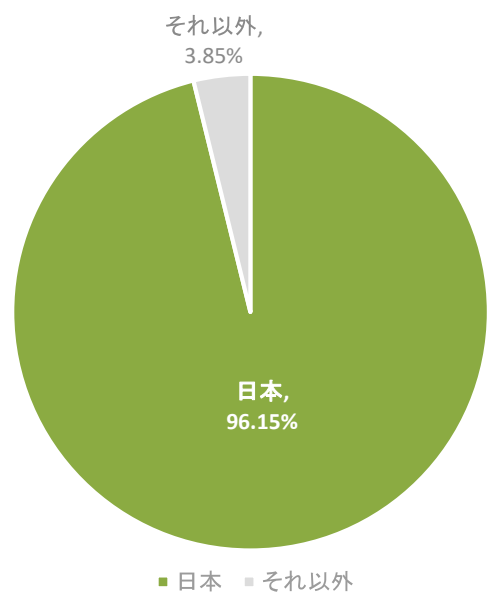
## Q5: 性別

Answered: 52 Skipped: 0



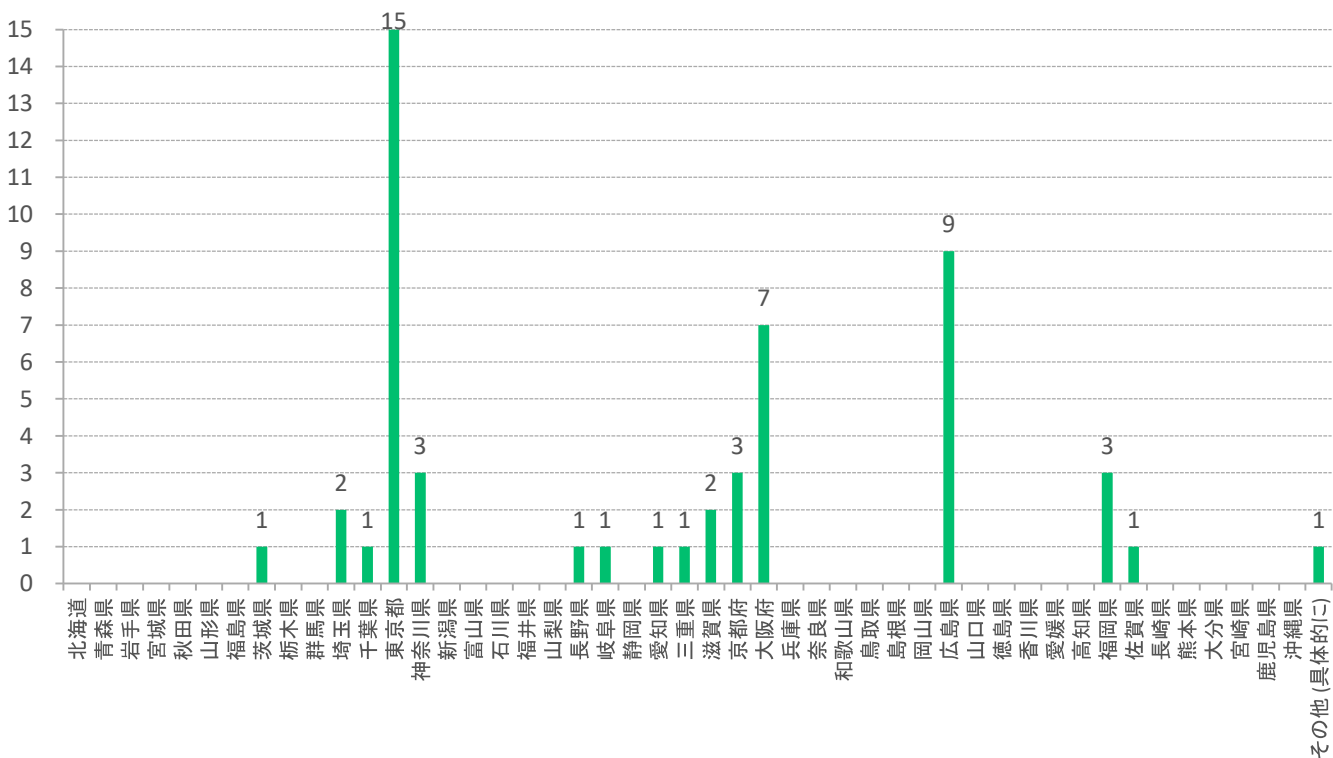
## Q6: 国籍

Answered: 52 Skipped: 0



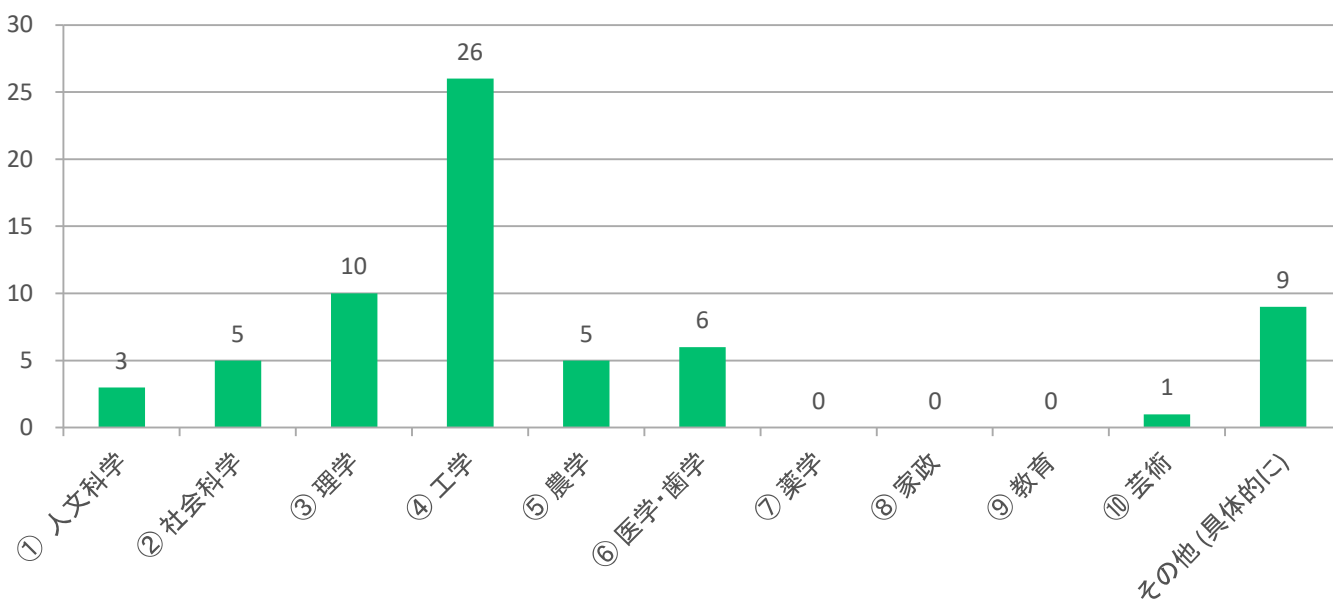
## Q7: 居住地域

Answered: 52 Skipped: 0



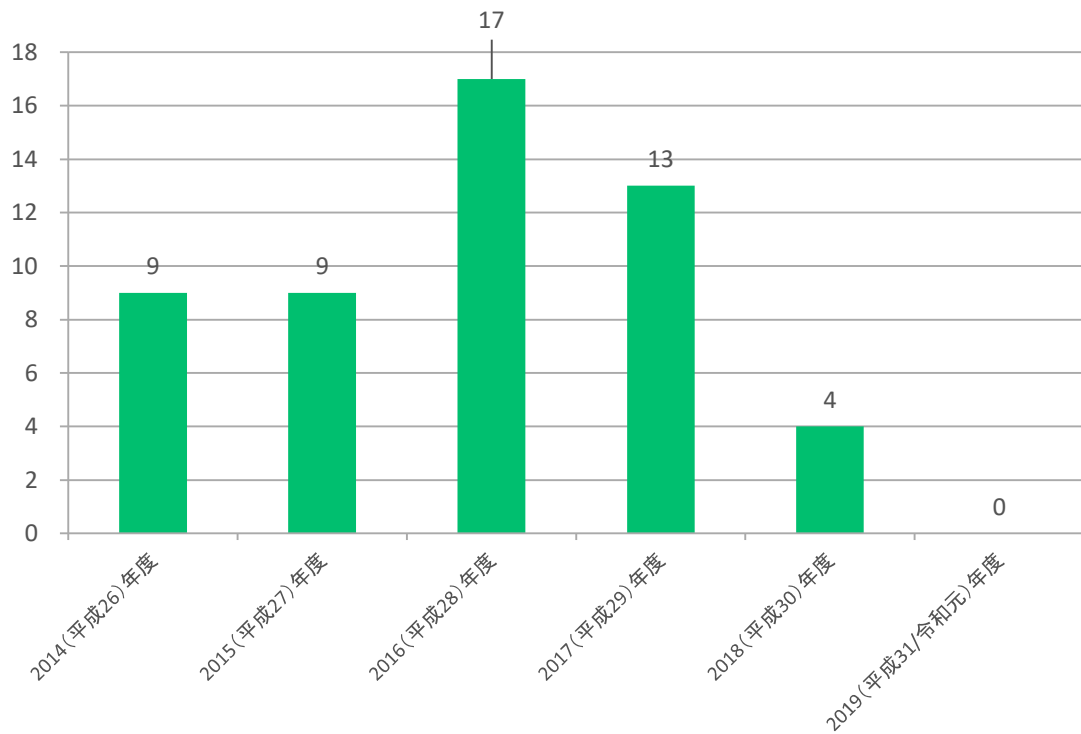
## Q8: 専門分野 ※複数回答

Answered: 52 Skipped: 0



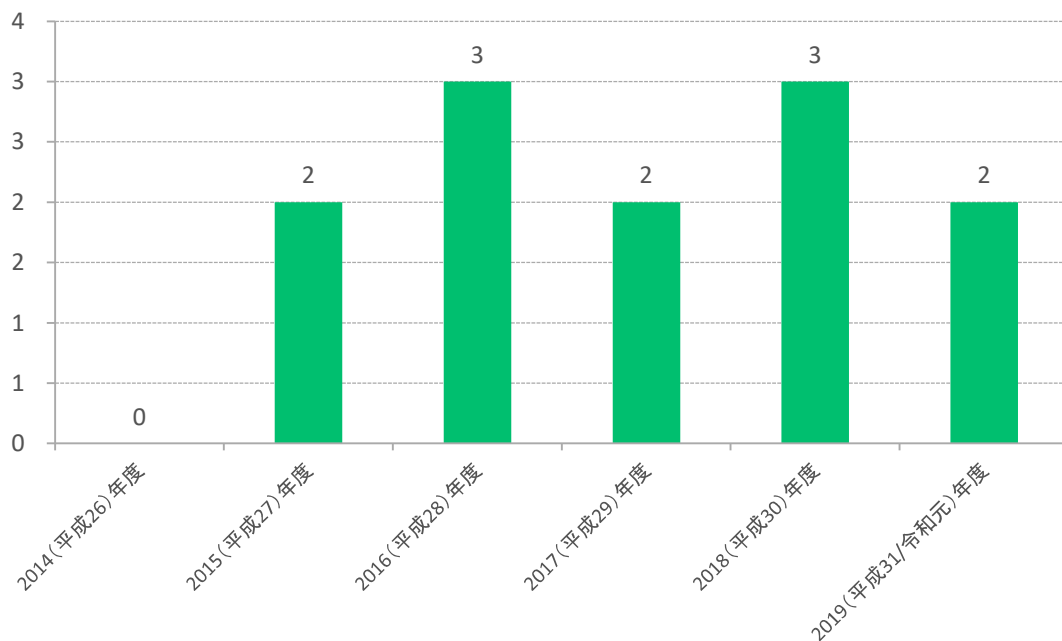
## Q10: プログラム受講期間（初回受講時の年度）

Answered: 52 Skipped: 0



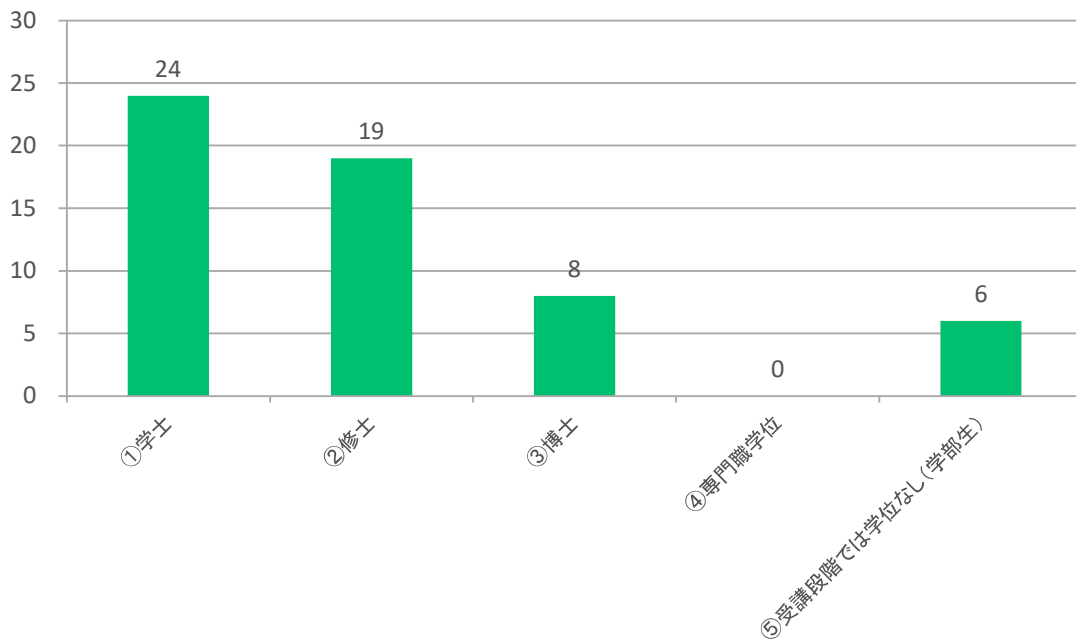
## Q12: プログラム受講期間（2回目の受講がある方のみ、その年度（任意回答））

Answered: 12 Skipped: 40



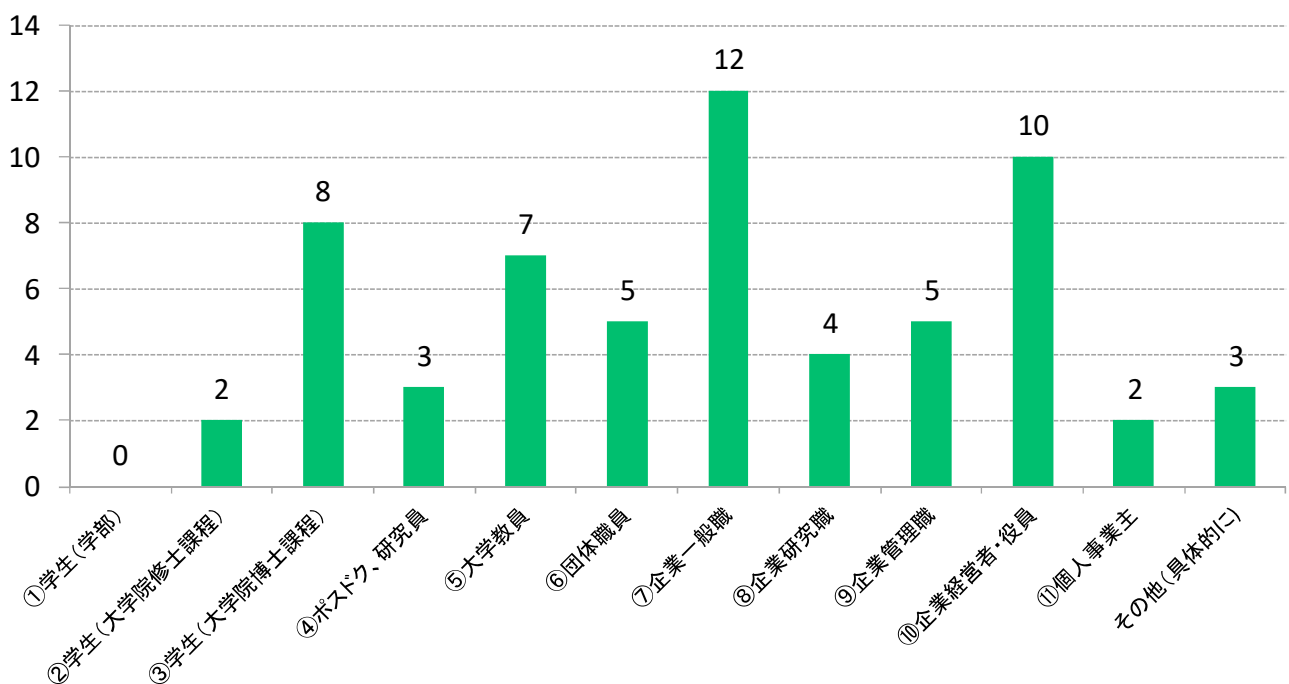
## Q14: 受講開始時に取得していた学位 ※複数回答

Answered: 52 Skipped: 0



## Q13: 現在の職業 ※複数回答

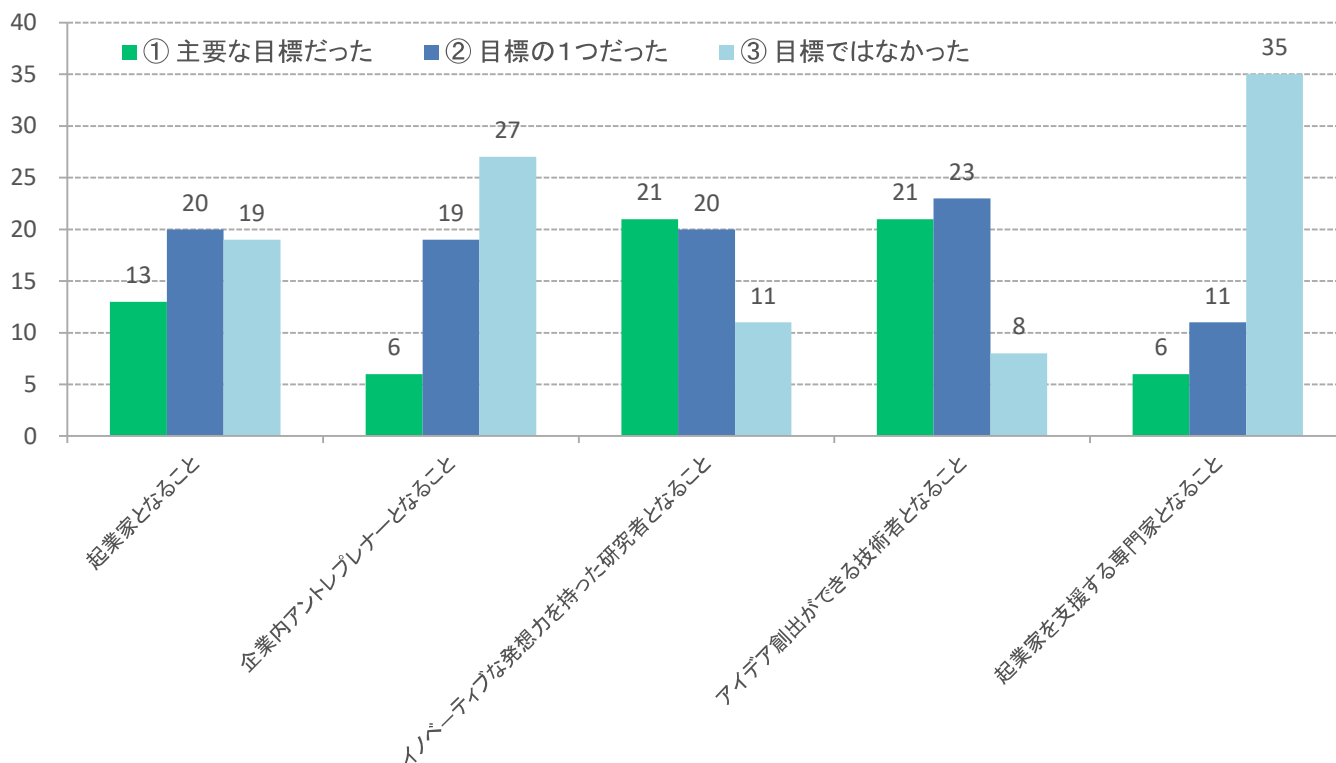
Answered: 52 Skipped: 0





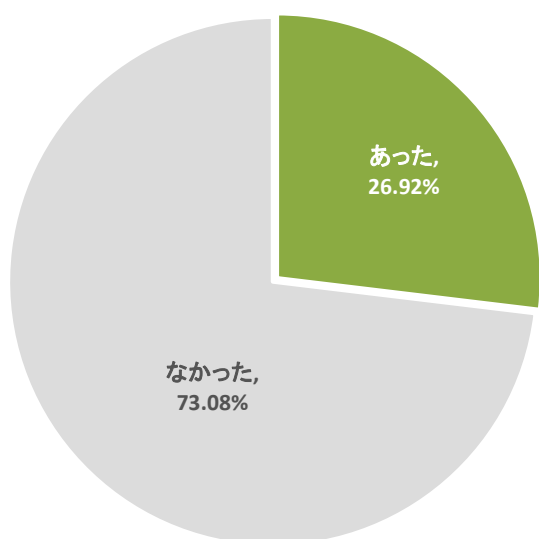
## Q15: 受講に際し、以下の何を目標にしていましたか？

Answered: 52 Skipped: 0



## Q16: 〈2〉 Q15. の目標達成に向けて学ぶ場として、EDGE/EDGE NEXT以外の選択肢はありましたか？(1つだけ選択)

Answered: 52 Skipped: 0

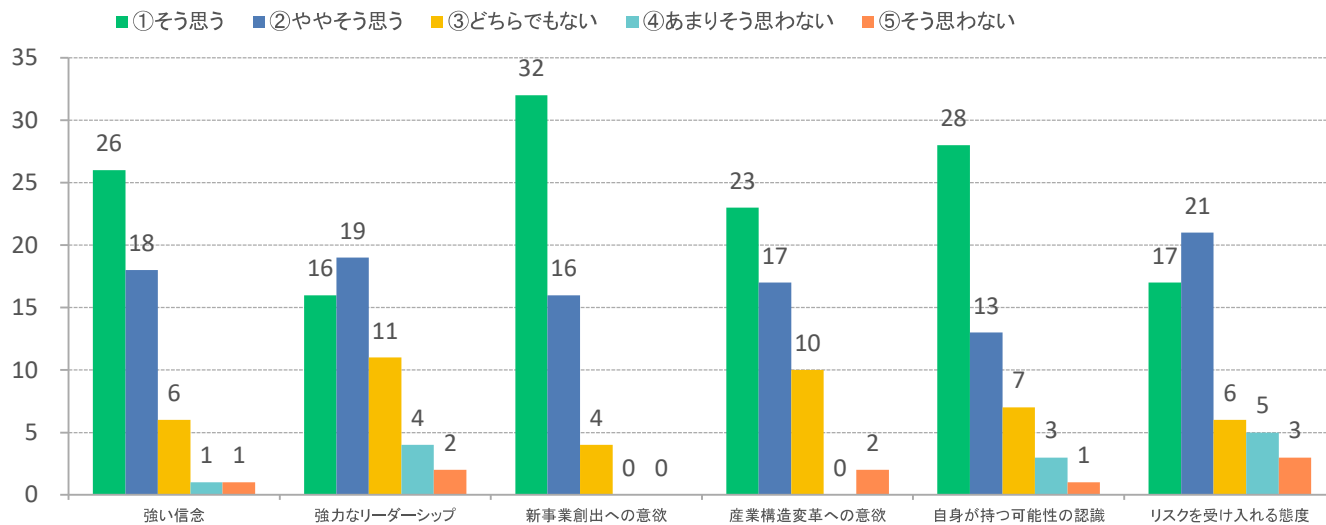


〈2〉Q16. の設問で「あった」と回答された方は、その選択肢を具体的にお教えてください。

- 企業インターン
- QRECという組織でのその他の授業
- 他のPBL授業の受講
- 東京都中小企業振興公社の起業塾など
- 起業後のビジネスモデル構築が明確になった
- G-TEC、その他の自治体の起業支援プログラム
- SNSでのオフ会
- 企業の新規事業創出支援を業とするコンサル会社でのインターンシップ
- 学内のその他講義
- 研究室活動と学会活動
- VCなどが主催するアクセラレーションプログラム
- 企業などが独自に行っているアクセラレーターなど
- 良いパートナーと出会えて実務へと結びつくことができた
- 興味のある分野の一般社団法人での活動

## Q18: A : アントレプレナー精神

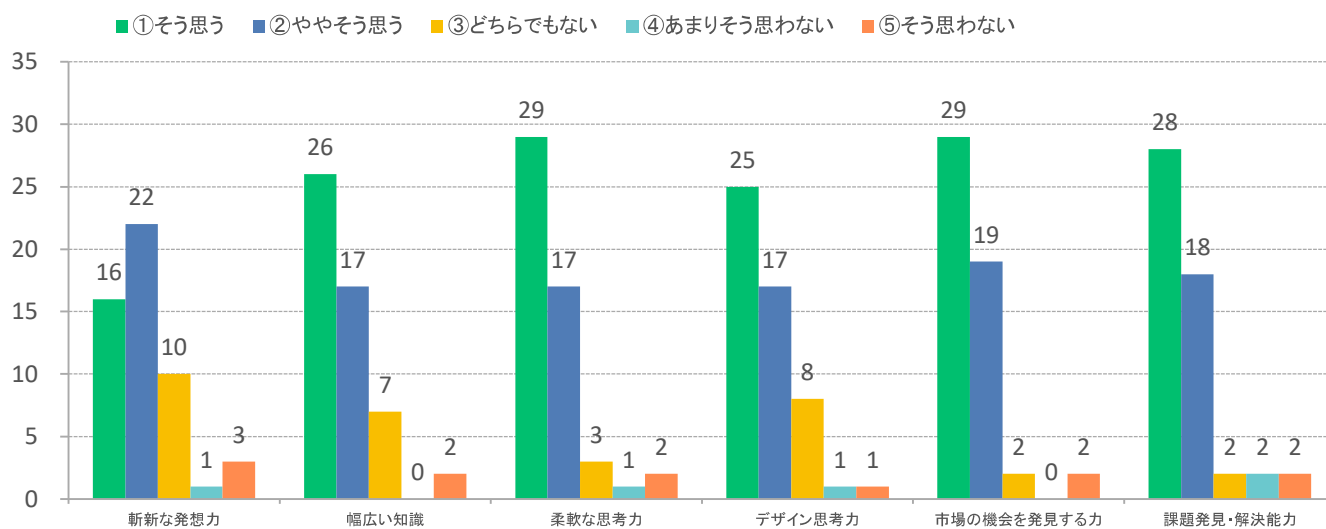
Answered: 52 Skipped: 0



	①そう思う	②ややそう思う	③どちらでもない	④あまりそう思わない	⑤そう思わない	TOTAL
強い信念	50.00% 26	34.62% 18	11.54% 6	1.92% 1	1.92% 1	52
強力なリーダーシップ	30.77% 16	36.54% 19	21.15% 11	7.69% 4	3.85% 2	52
新事業創出への意欲	61.54% 32	30.77% 16	7.69% 4	0.00% 0	0.00% 0	52
産業構造変革への意欲	44.23% 23	32.69% 17	19.23% 10	0.00% 0	3.85% 2	52
自身が持つ可能性の認識	53.85% 28	25.00% 13	13.46% 7	5.77% 3	1.92% 1	52
リスクを受け入れる態度	32.69% 17	40.38% 21	11.54% 6	9.62% 5	5.77% 3	52

## Q19: B : イノベーティブな発想力

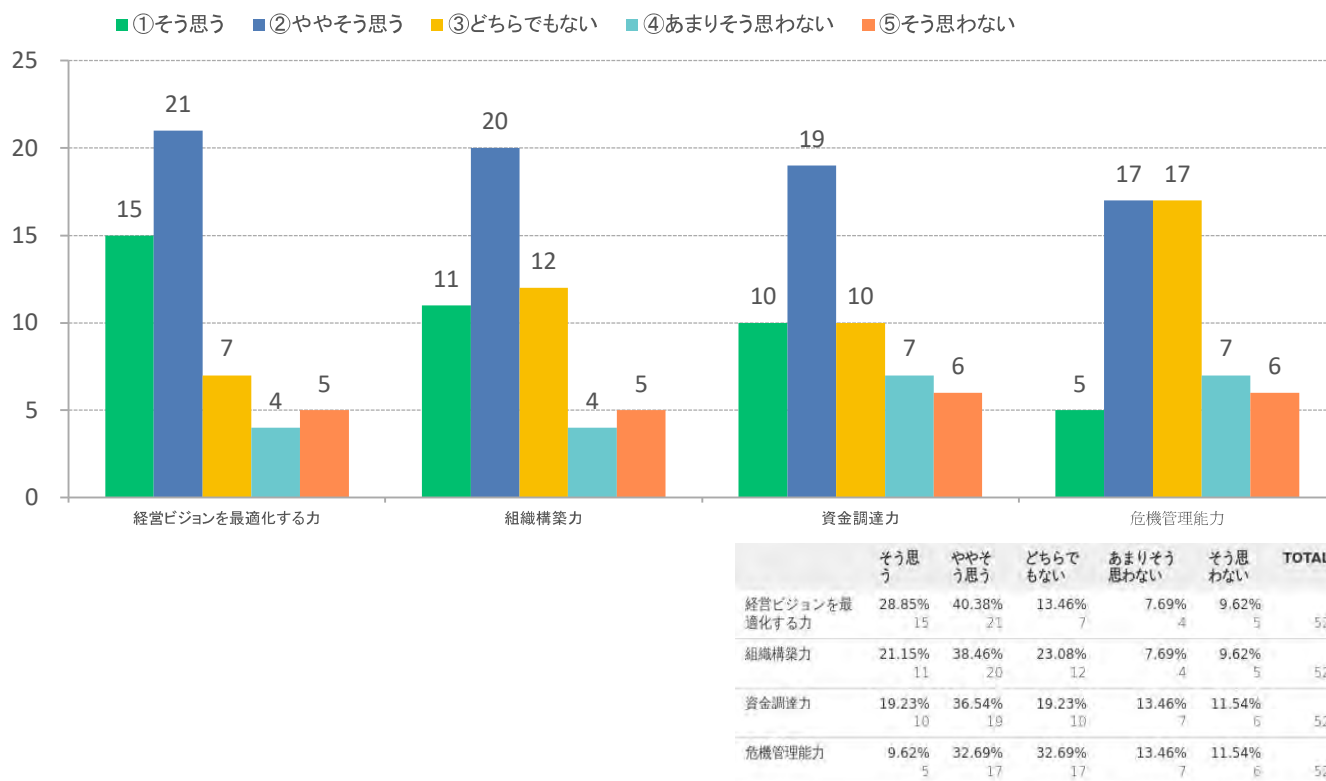
Answered: 52 Skipped: 0



	①そう思う	②ややそう思う	③どちらでもない	④あまりそう思わない	⑤そう思わない	TOTAL
斬新な発想力	30.77% 16	42.31% 22	19.23% 10	1.92% 1	5.77% 3	52
幅広い知識	50.00% 26	32.69% 17	13.46% 7	0.00% 0	3.85% 2	52
柔軟な思考力	55.77% 29	32.69% 17	5.77% 3	1.92% 1	3.85% 2	52
デザイン思考力	48.08% 25	32.69% 17	15.38% 8	1.92% 1	1.92% 1	52
市場の機会を発見する力	55.77% 29	36.54% 19	3.85% 2	0.00% 0	3.85% 2	52
課題発見・解決能力	53.85% 28	34.62% 18	3.85% 2	3.85% 2	3.85% 2	52

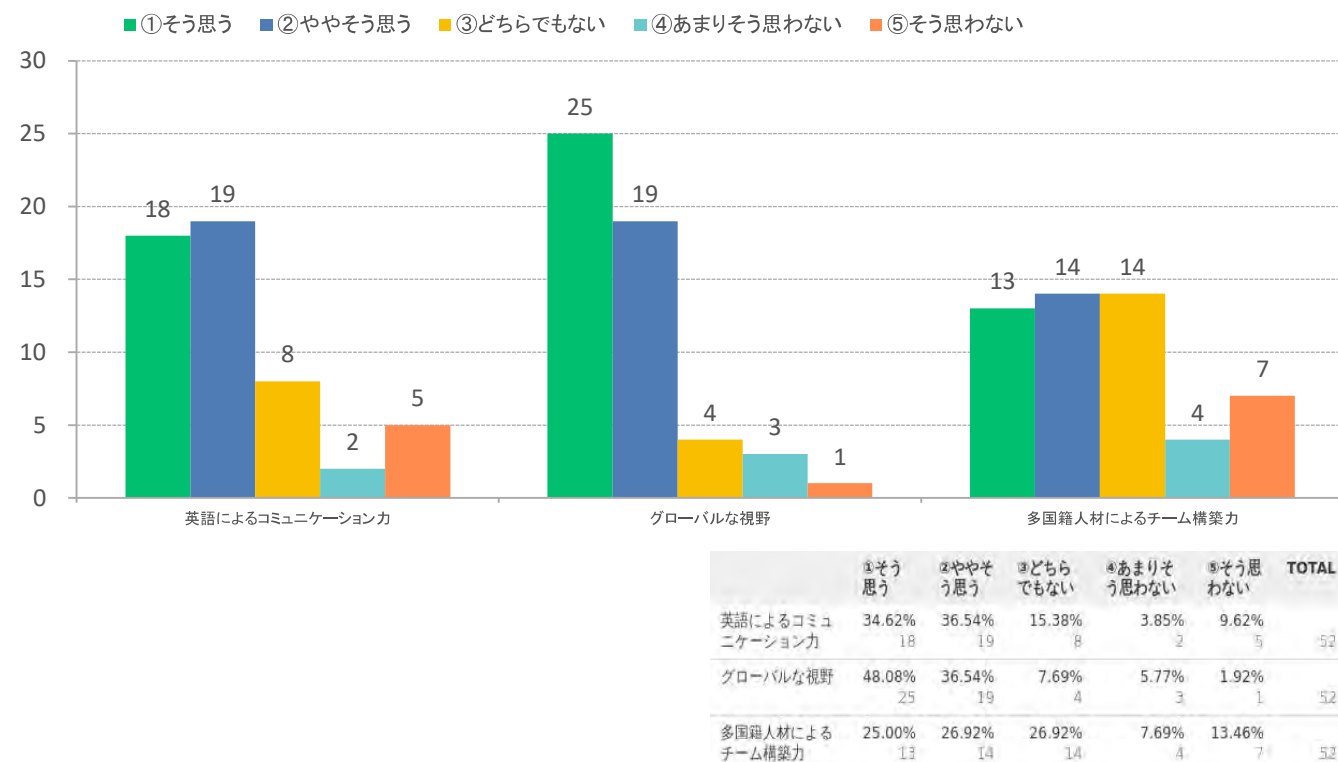
## Q20: C : 経営戦略立案・ビジネスモデル構築力

Answered: 52 Skipped: 0



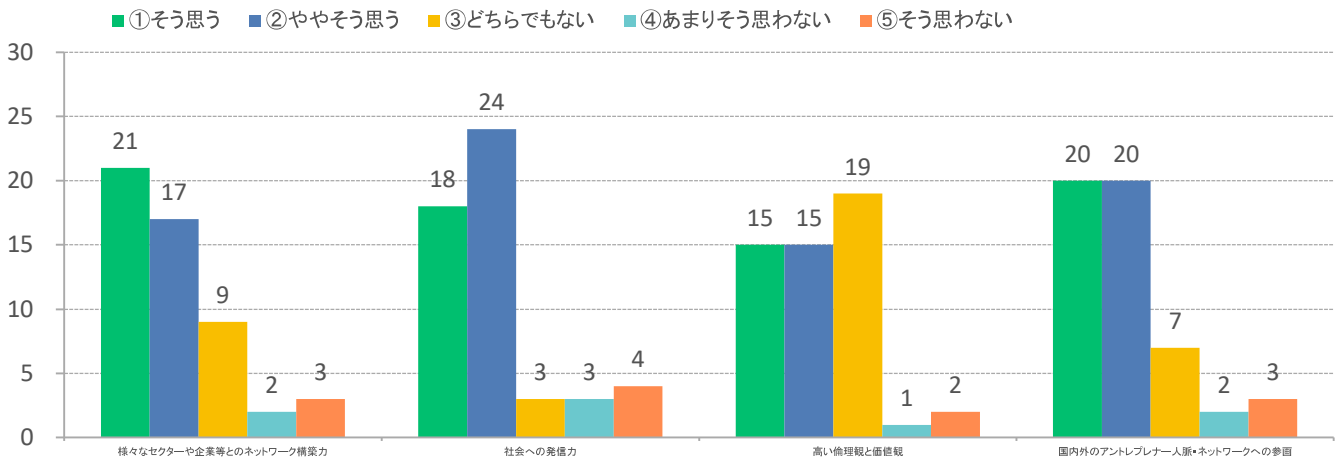
## Q21: D : 国際的な思考力、競争力

Answered: 52 Skipped: 0



## Q22: E : エンゲイジメントと社会的責任感

Answered: 52 Skipped: 0



	①そう思う	②ややそう思う	③どちらでもない	④あまりそう思わない	⑤そう思わない	TOTAL
様々なセクターや企業等とのネットワーク構築力	40.38% 21	32.69% 17	17.31% 9	3.85% 2	5.77% 3	52
社会への発信力	34.62% 18	46.15% 24	5.77% 3	5.77% 3	7.69% 4	53
高い倫理観と価値観	28.85% 15	28.85% 15	36.54% 19	1.92% 1	3.85% 2	52
国内外のアントレプレナー人脈・ネットワークへの参画	38.46% 20	38.46% 20	13.46% 7	3.85% 2	5.77% 3	53

## Q23:A~E以外の項目で、受講によって学んだことがあれば、教えてください(1) (自由記述)

Answered: 11 Skipped: 41

- 友達は大切にしよう。
- 周りにアントレプレナーを志す人間が多く存在し、コミュニティを形成できたこと、また起業が日常的であるという感覚が醸成されたことが大きかったと思う。
- これらの感覚は、リーンスタートアップという同じフレームワークを学ぶことによる認識の共有、言語の共通化や、種々のスタートアップ起業家の話を一緒に聞くという体験の共有が寄与しているのではないかと思います。
- また、アカデミアという立場でありながら、数々の登壇機会、露出機会をいただけたことがモチベーションにつながったと感じている
- 自分(弊社)の今の位置、フェーズを客観的に確認することができた。
- 何が必要なのか、時間をかけて考えることができた。
- 喜び、学び合える、社会人としての仲間ができた。
- いろいろな年齢や職種の人達と知り合い、理解する機会になった。

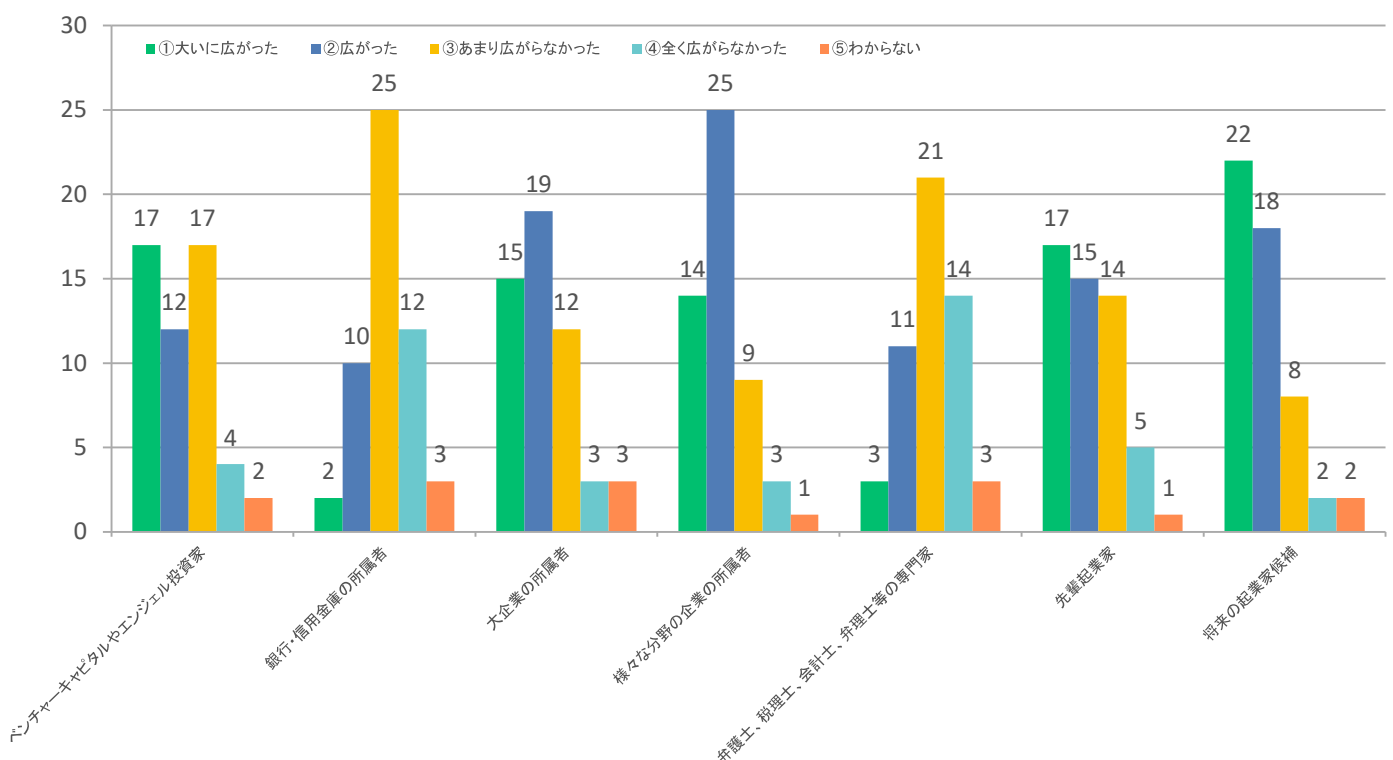
## Q23:A～E以外の項目で、受講によって学んだことがあれば、教えてください(2) (自由記述)

Answered: 11 Skipped: 41

- 価値の創造について具体的の方法を詳細にコーチングして頂き、最終的にシリコンバレーでのプレゼンにより専門化による客観的な評価があった。それは起業家を目指す人間にとっては、体験という知や肉になるようなプログラムとなっており、他にはない革新的な物となっていた。
- 参加学ワークショップの指導法
- ベンチャーが資金調達をする仕組み(ベンチャーキャピタルのビジネスモデル)
- 科学技術の実用化
- 学外実習で幅広い教養を得ることができた
- 文系学生と長期間ビジネスについて議論するような機会は普段無く、受講によって彼らの視点や考え方を学ぶことが出来た。
- 机上の理論だけでなく、とにかく現場に飛び込んで足で稼いで情報を取得し、実際に手を動かして検証することの重要性

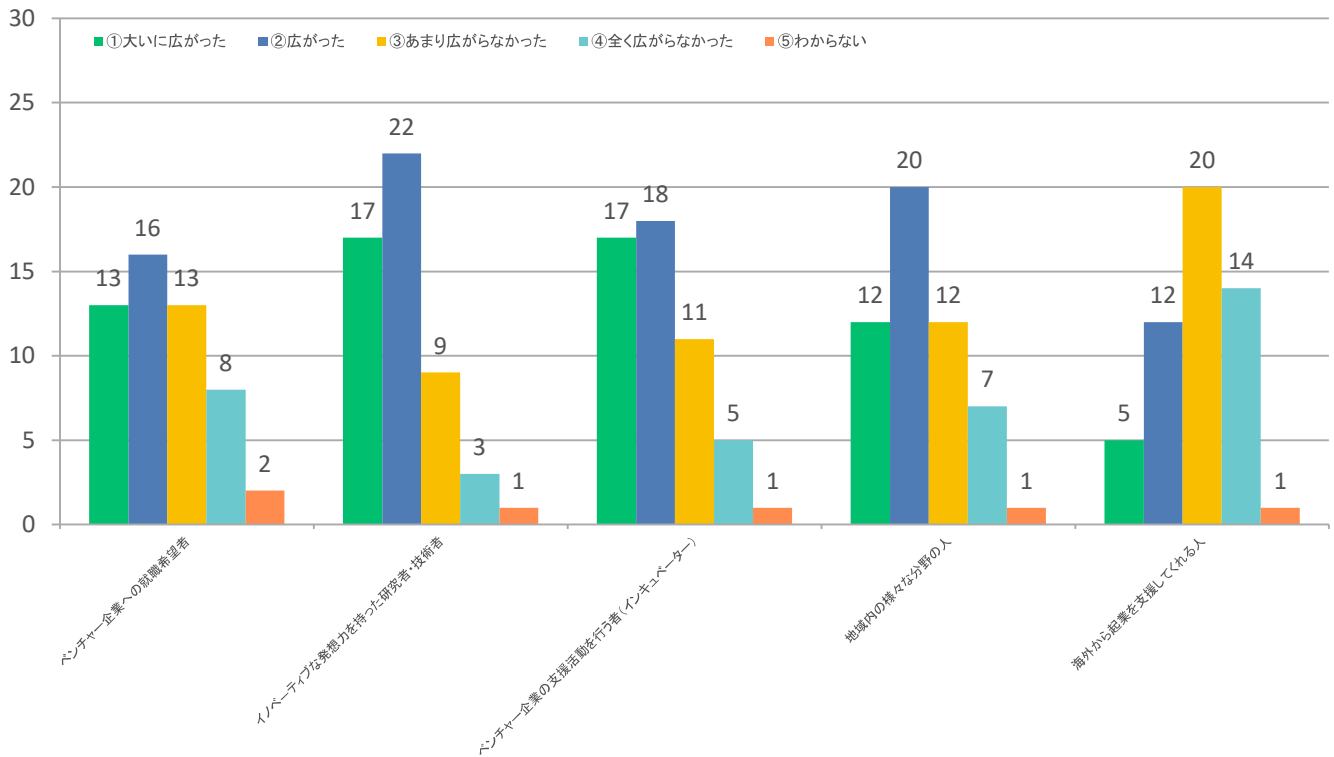
## Q24: 受講によって、以下の人との人的なつながりは広がりましたか？(1)

Answered: 52 Skipped: 0



## Q24: 受講によって、以下の人との人的なつながりは広がりましたか？(2)

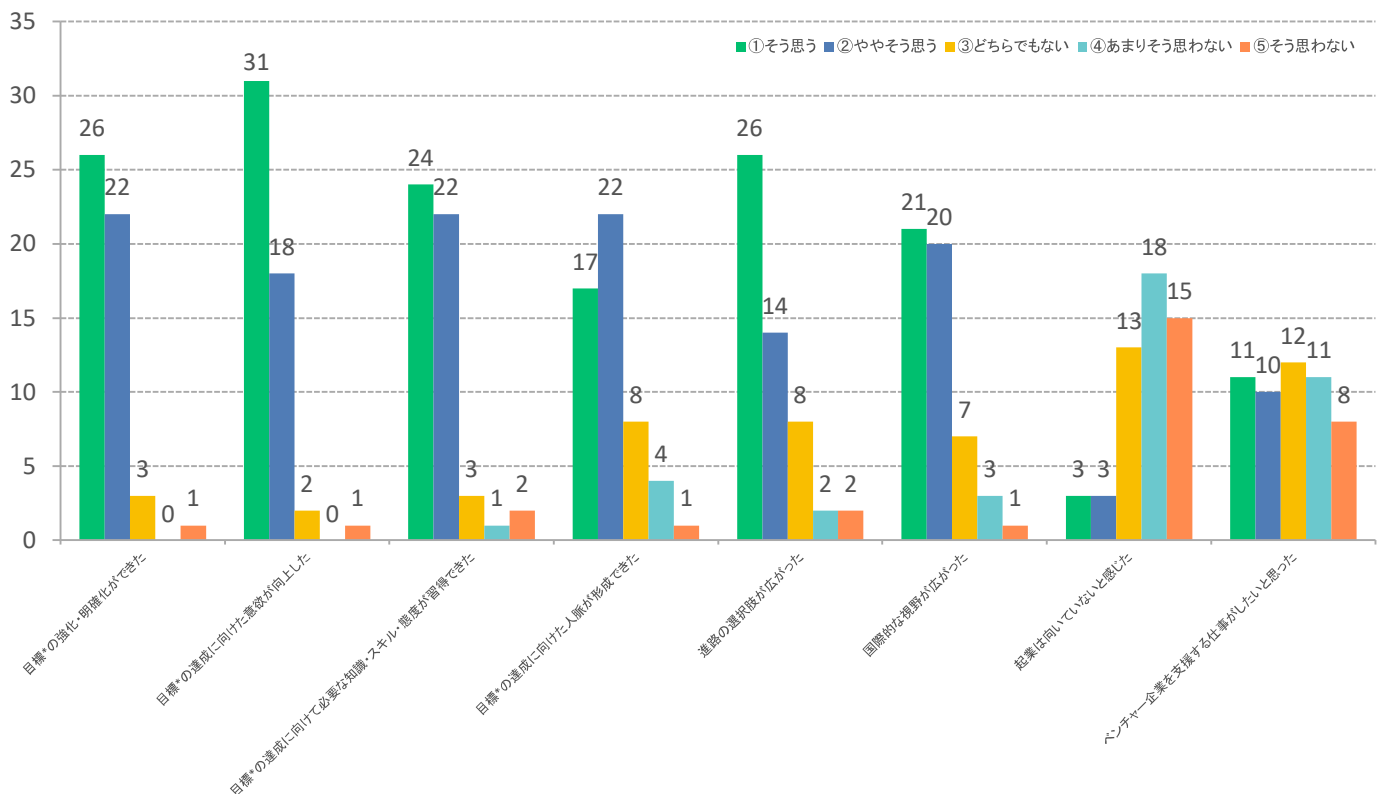
Answered: 52 Skipped: 0



## Q25: 受講によって、以下のどの点で変化がありましたか？

\*は、〈2〉Q15.での『当初の目標』選択肢(1) 起業家となること (2) 企業内アントレプレナーとなること (3) イノベティブな発想力を持った研究者となること (4) アイデア創出ができる技術者となること (5) 起業家を支援する専門家となること (6) 明確な目標は持っていなかった (7) その他)

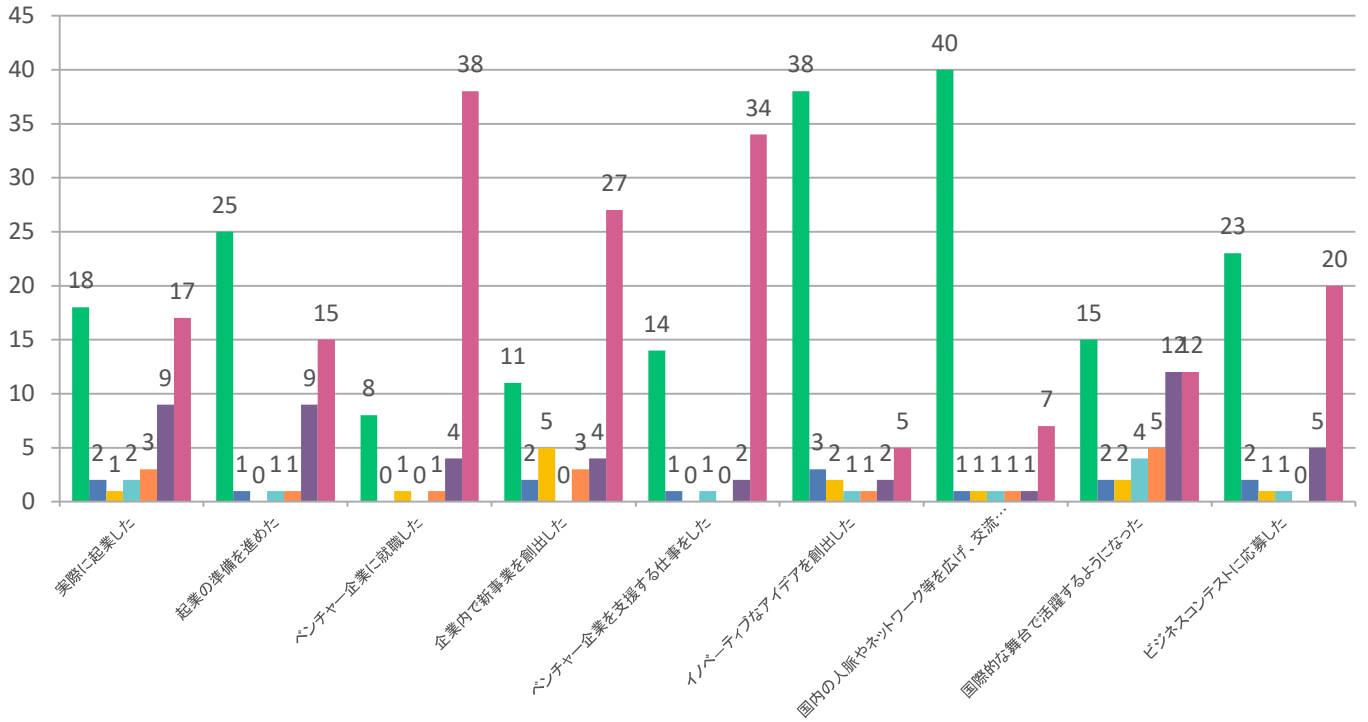
Answered: 52 Skipped: 0



## Q26: 受講をきっかけとして、以下の行動を起こしましたか？ 又は、直近で以下の行動を起こす予定がありますか？(1)

Answered: 52 Skipped: 0

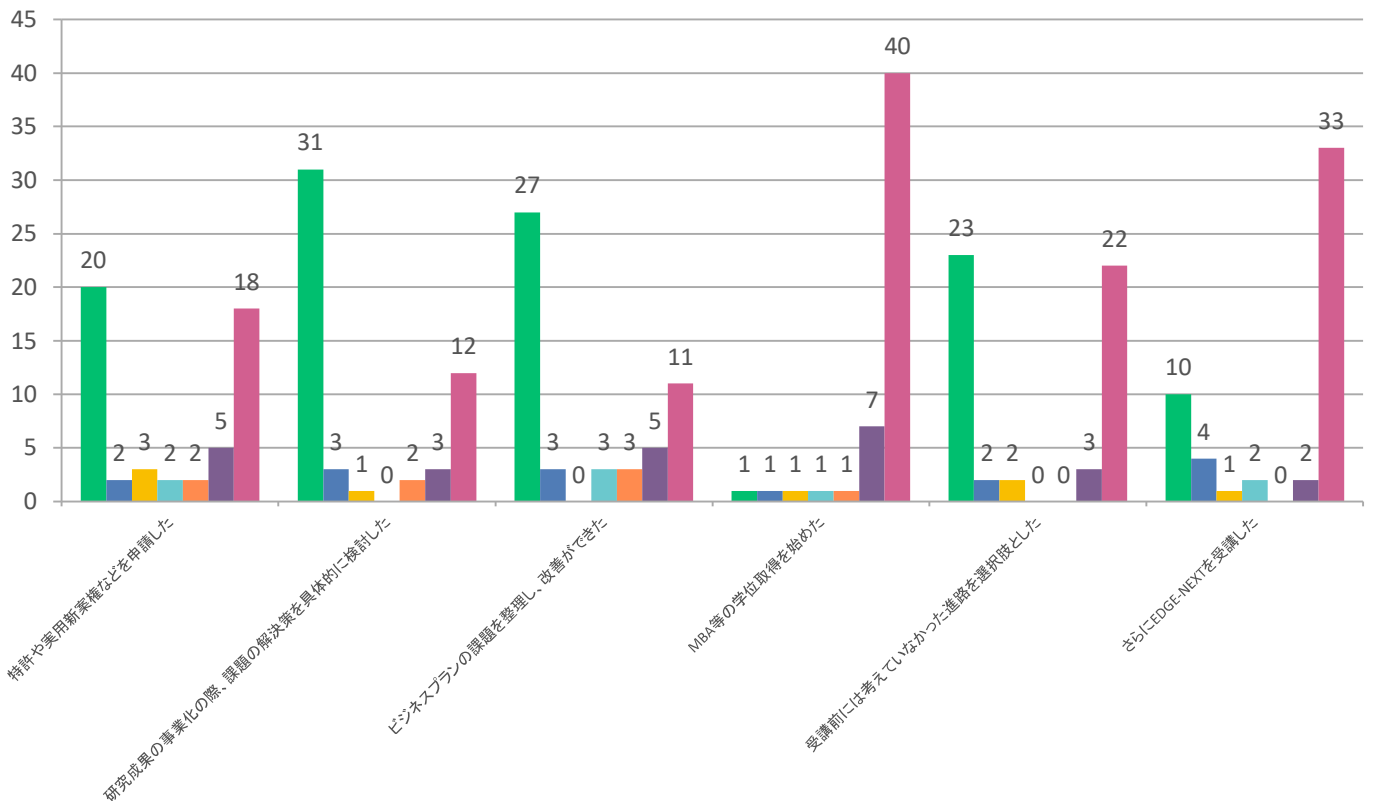
①行った ②行おうとしたができなかった ③半年以内に行う予定 ④1年以内に行う予定 ⑤2～3年以内に行う予定 ⑥行う予定ではあるが具体的な計画は立っていない ⑦行う予定はない



## Q26: 受講をきっかけとして、以下の行動を起こしましたか？ 又は、直近で以下の行動を起こす予定がありますか？(2)

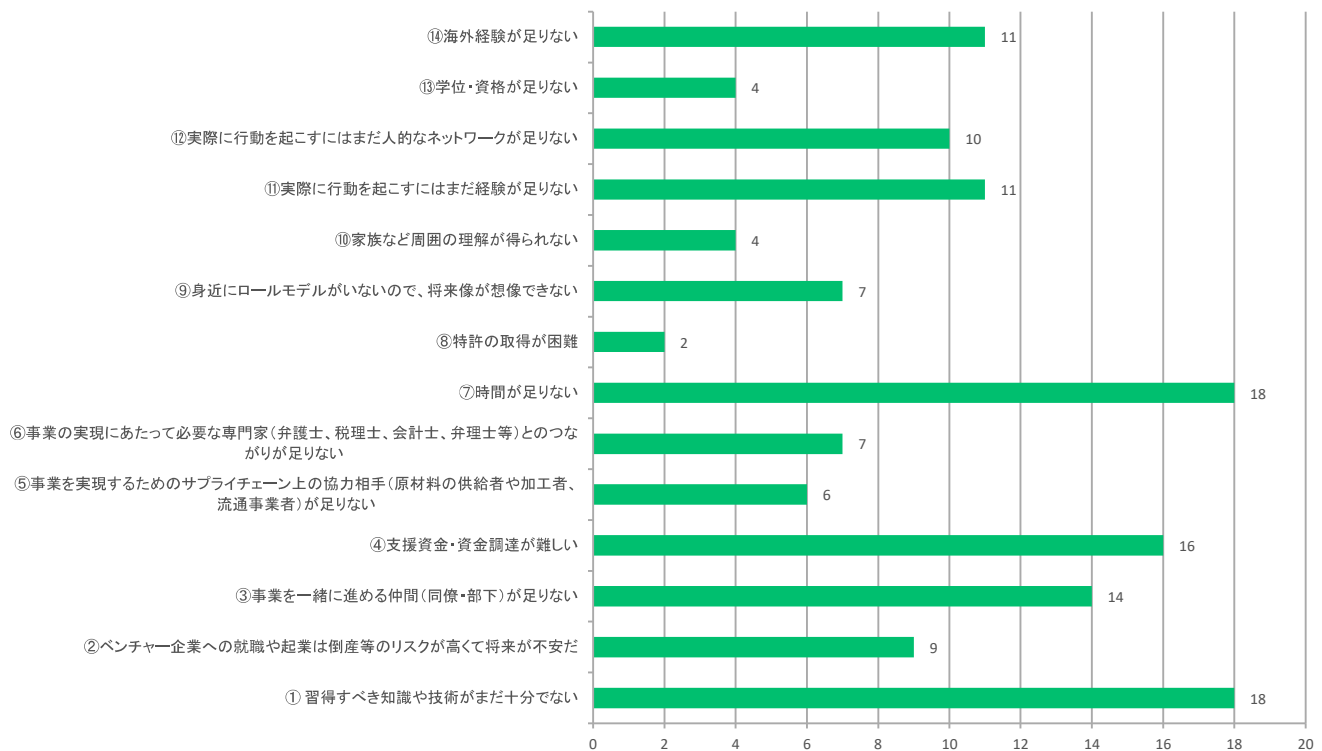
Answered: 52 Skipped: 0

①行った ②行おうとしたができなかった ③半年以内に行う予定 ④1年以内に行う予定 ⑤2～3年以内に行う予定 ⑥行う予定ではあるが具体的な計画は立っていない ⑦行う予定はない



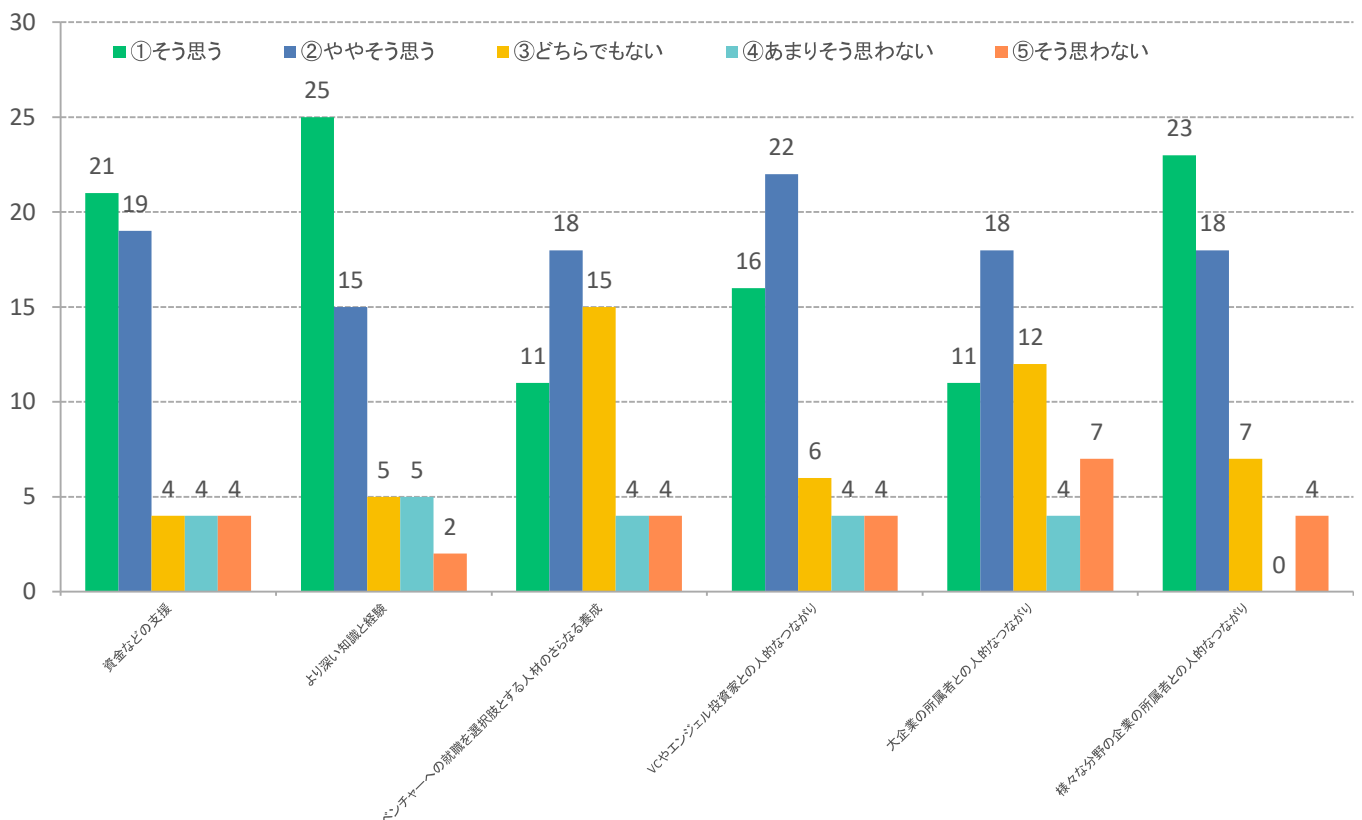
## Q27: Q26. に挙げた項目について、実際に行動を起こそうとした際に、阻害する要因はありましたか？それはなにですか？（すべてについてお答えください）

Answered: 52 Skipped: 0



## Q28: Q27. の阻害要因を打破するために必要な支援は何だと思いますか？(1)

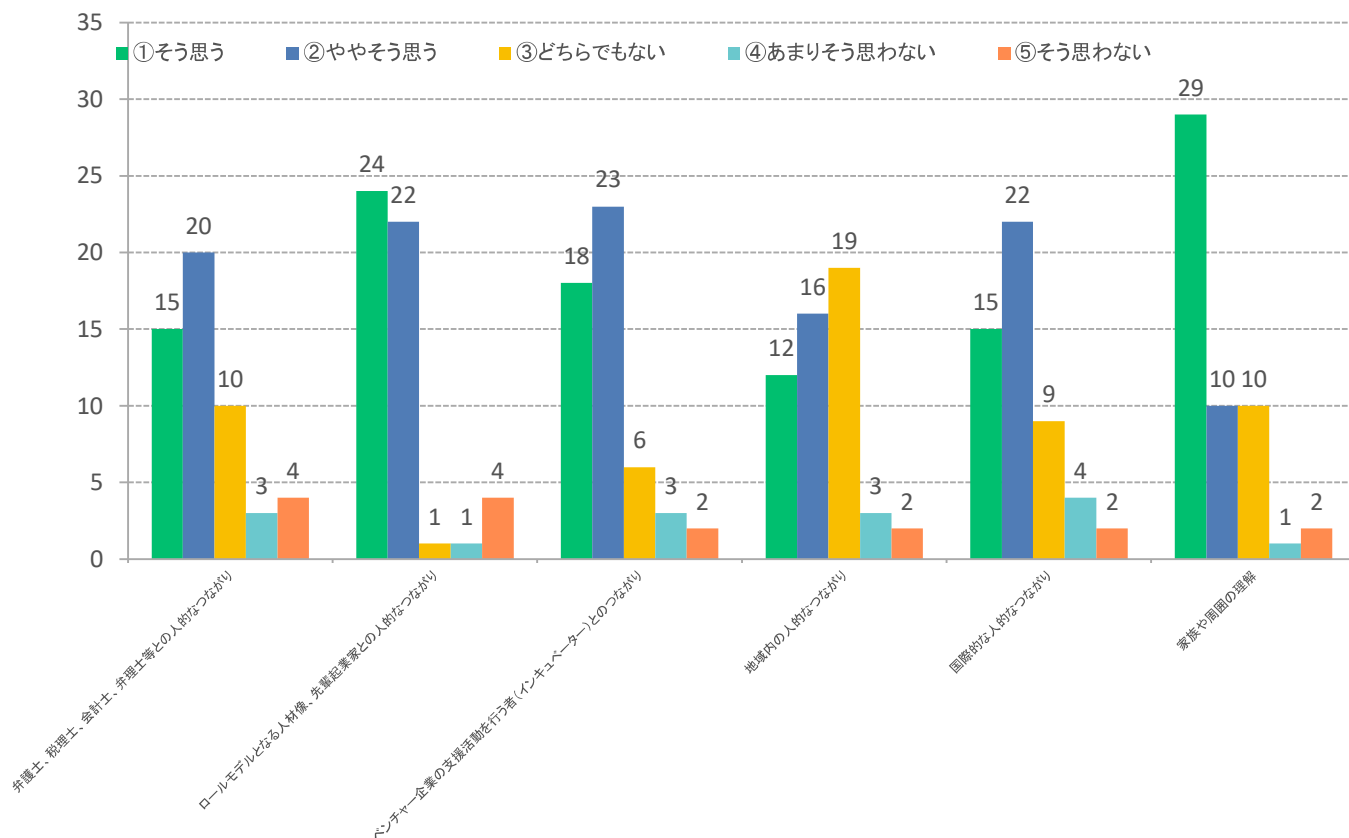
Answered: 52 Skipped: 0





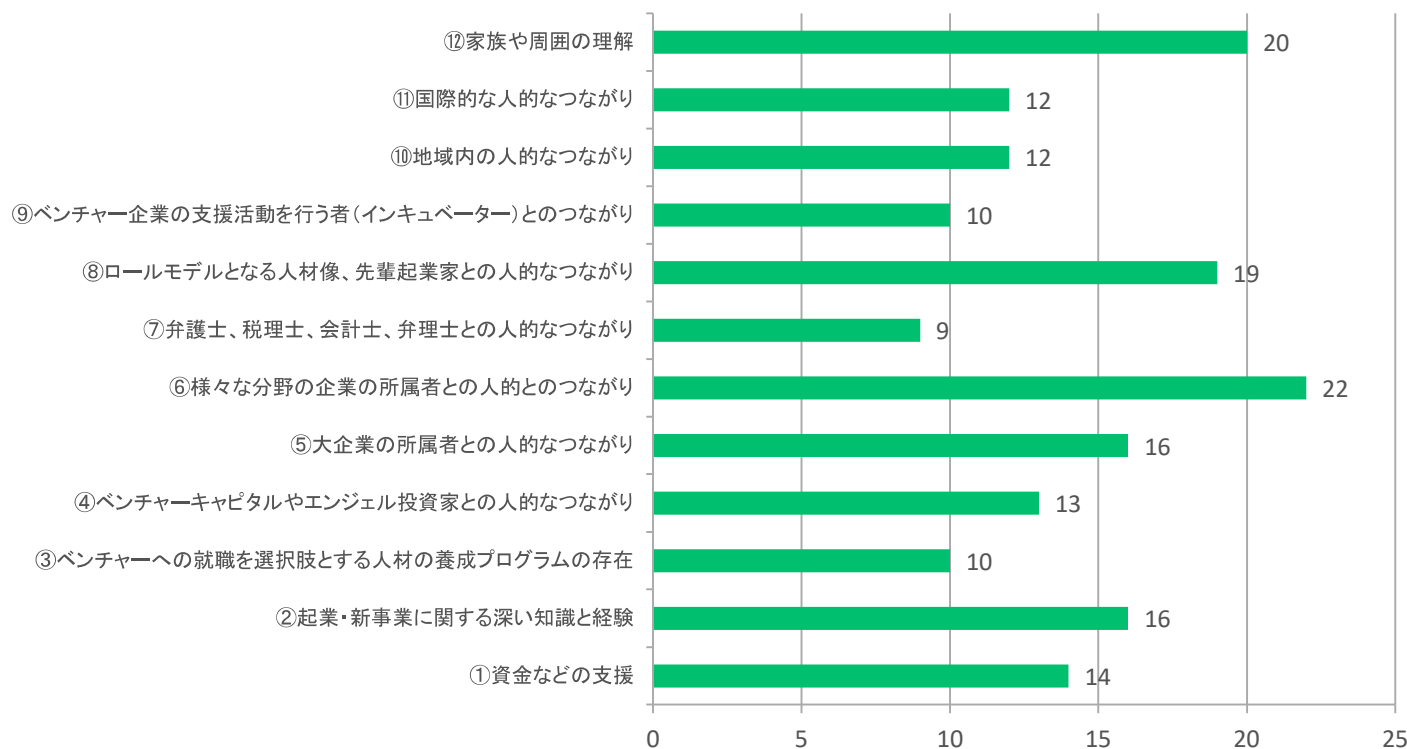
## Q28: Q27. の阻害要因を打破するために必要な支援は何だと思いますか？(2)

Answered: 52 Skipped: 0



## Q29: Q26. に挙げた項目について、実際に行動を起こそうとした際に、それを後押しすることになった要因はありましたか？ (すべてについてお答えください)

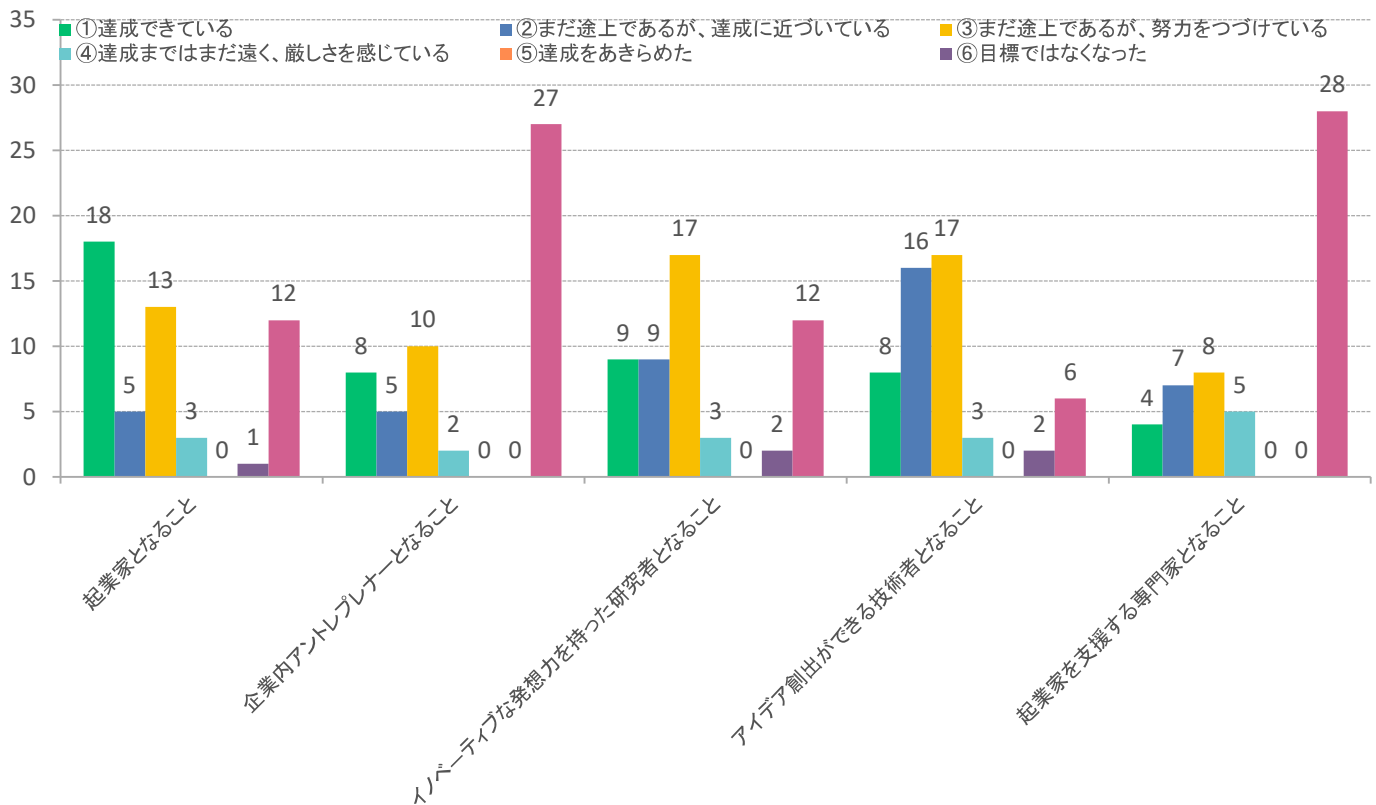
Answered: 52 Skipped: 0



## Q30: 以下の点について、現在、達成できていますか？

<2>Q15. で回答した『当初の目標』ではなかったものについても、現在は達成している場合、または、達成を目指している場合は「①達成できている」～「④達成まではまだ遠く、厳しさを感じている」の選択肢からご回答ください。【参考：〈2〉Q15.での『当初の目標』選択肢】 1) 起業家となること 2) 企業内アントレプレナーとなること 3) イノベーターな発想力を持った研究者となること 4) アイデア創出ができる技術者となること 5) 起業家を支援する専門家となること 6) 明確な目標は持っていなかった 7) その他

Answered: 52 Skipped: 0



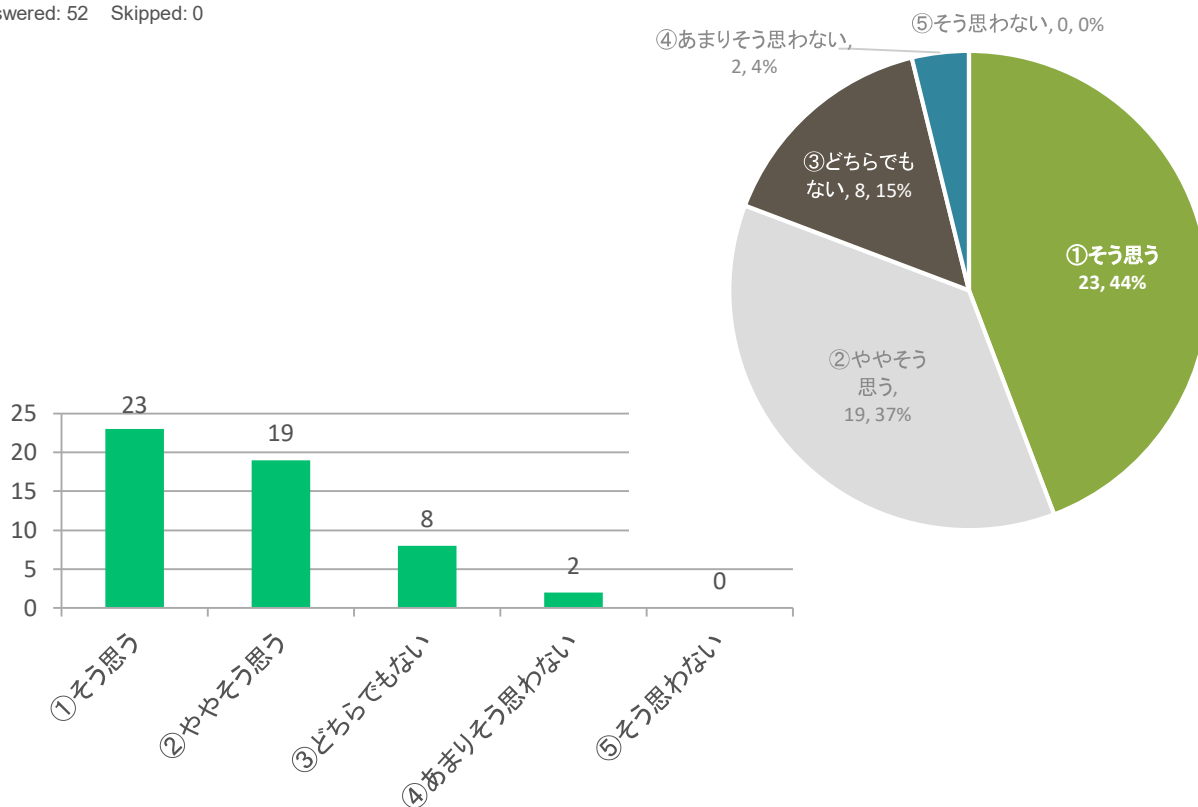
## Q31:Q30. の達成度について、こういった阻害要因・後押しする要因が、ありますか？

Answered: 11 Skipped: 41

- 【後押しする要因】周囲に起業家の友人が増えると後押しにつながる。
- 【後押しする要因】起業やアイデア創出について気軽に相談できる窓口が所属機関内にあれば達成度の向上が期待できる。
- 【後押しする要因】社会課題に取り組みたいという思い。
- 【阻害要因】博士課程在籍中で学位取得を第一目標に活動しているため、起業に向けた活動を開始できない&アルバイトやインターンシップで気軽にその種の経験を積めないこと。  
【後押しする要因】その後も学内の講義などでアントレプレナーシップ教育を受ける機会があること。
- 【阻害要因】資金を得ることが困難であり、努力をしています。
- 【阻害要因】起業家のように事業を立ち上げることの大企業人材による不理解。大企業内の既存事業と同じ進め方しているため、成果になりにくい。
- 【阻害要因】現職では平日の時間を確保できず、顧客へのインタビューが十分できなかったこと。
- 【阻害要因】本人の強い意志とそれを支える環境は必要条件であるが、価値を創造し顧客にそれをどう洗脳し実証していくか。そこに専門家からの教育が必要になってると感じる。ほとんどの研究テーマは競合技術に対する価値の創造で躓いていると感じる。
- 【阻害要因】生活費の不足。
- 【阻害要因】経験と知識の不足。
- 【阻害要因】社内での理解と機会。

### Q32: 一般的に、EDGE/EDGE-NEXTのような教育・人材育成に関する事業の長期的な効果を図る上で、過去の受講生・修了生に対する今回のようなアンケートは有効だとおもいますか。

Answered: 52 Skipped: 0



### Q33:その他、EDGE/EDGE-NEXTについての感想などがございましたらお教えてください。

Answered: 19 Skipped: 33

- 起業家を目指す大きなきっかけとなり、大変有意義な授業でした。人脈の拡大にもつながり生涯の糧になると考えております。
- 単味が欲しくてやったので、あまり起業に興味がありませんでした。受講しても起業に興味を持つことはありませんでした。
- アンケートの中身を見て、抽象的な質問が多いのと、行動している人かしていない人かを二分化して、していない人には質問しなくていい内容もあったと思うので、アンケートの量は削れるかなと思いました。
- 特に、ベンチャーやスタートアップ支援のエコシステムが整っていない地方都市において、継続的に実施してほしい。また、そこに最初の一步のための資金的な支援をする仕組みがあるとより良いと思う。
- 今後も継続的に実施を行うべき事業であると感じている
- 英語プレゼン合宿の質が低かったです。全体的に講師の質をいかに高めるかでしょうか。
- 実際のイノベーションの創出には、様々なフェーズにおいての様々なプレイヤーの取り組みの積み重ねが必要であり、EDGEのような講義を受講する事や、各種業務の経験を積み重ねる中で、地域でのエコシステムの一部となる意識を持って行動できる人材を増やしていく事が大切だと感じている。一人でエコシステム形成には、なり得ないので、各ポジションでイノベーションを意識した人材を増やしていくこうした取り組みは必要だと思う。
- 起業していたにもかかわらず、何もわからず受講させていただきました。EDGEと、EDGEの先生方、支援者の方々、そして仲間のおかげで、今があると感じています。心から感謝です。期間が長く、様々なことにチャレンジしたことが、自分の身になり、仲間との絆になったと思います。ありがとうございました。
- 大学生とそれ以外の参加者バランスが適切だと、刺激的になると感じた。
- EDGEプログラムの講義を複数受けましたが、参加開始当初はEDGEという一連のプログラムの一つであることを理解していなかったので(ほかの参加者にも同じことを言っている人がいたので)、学生の認知度は低いのではないかと思います。大変勉強になり、自身の進路選択にも大きな影響を与えているので、この種の(学生から見ると単位取得最短ルートから離れた)プログラムはもっと認知度と学生からのイメージを高める活動に力を入れていただくと、興味はあるけど存在を知らずに学ぶ機会を逃していた学生さんも利用できてよいのではないかと思います。実際に私自身、EDGEは受講しましたが、EDGE-NEXTの存在は知りませんでした。

## Q33:その他、EDGE/EDGE-NEXTについての感想などがございましたら教えてください。

Answered: 19 Skipped: 33

- 大学ごとに個性があってもいいと思います。
- EDGEの先生方に大変お世話になりました。企業人にとっても国内有数の非常に有益なプログラムであると思います。
- 現在、新規事業の立ち上げで3年が経ち、ようやく市場を大きく変える事が出来るようになった。そこで私が最も重要と感じることは市場に価値を創造し、感動を与え、実証することである。この点で最初の価値の創造は、誰(セグメント)に何に対して良いのか(ポジショニング)を明確に示すこと。これが第一歩になることをこのプログラムは教えてくれた。またこのグローバル化した市場に対し、国際的にそれを示していくという姿勢をシリコンバレーの研修で体験し、その重要性を実感させて頂いた。これは自分の現在の仕事にとって非常に重要な基礎を築くことができ感謝している。そしてその新しい技術をいかに市場で実証して行くか、これこそがR&D(技術開発)であるということに気付かせて頂いた。我々の研究所のほとんどのテーマはこの価値の創造が十分でない状態でR&Dを続けている結果、以前より効率が悪化していると指摘を受け、私自身も危惧している。よって日本の研究開発を国際的な水準に保つためにも起業家であれ企業人であれ、本プログラムを拡大し、優れた研究者を育てることを続けることは極めて重要であると感じている。それを無しに日本が研究に投資しても得られる成果は非常に小さくなって行くと思う。私は今後日本は投資では他国(中国、米国)と益々戦えなくなるという危機感を持っている。よって研究者の能力向上に投資を集中し、他国との差異化を進めることが極めて重要になって行くと感じている。本プログラムはその重要な投資先であると実感している。是非、国が中心となり研究者の育成を強力に進めてほしい。
- 刺激のある出会いに恵まれ大変感謝している。また参加したい。
- EDGEプログラム参加後に起業をして、最近1億円のシードラウンドの資金調達を達成しました。これまでにいくつかのインキュベーション/アクセラレーションに参加しましたが、EDGEプログラムはその手のプログラムで初めての参加でした。EDGEプログラムがなければ起業することは絶対になかったため、参加することで人生が変わったのは間違いありません。EDGEプログラムは、比較的研究者に寄り添ってくれますので(必ずしも起業をすすめるわけでもない)、そこはVCなどが主催するプログラムとの大きな差ではないかと思います。実際にベンチャーの経営はかなり厳しい現実があります。当社はベンチャーとしてはかなりうまくいって行く方だと思いますが、それでも研究開発に資金を回すために社長の給料はぎりぎりまで削っており、生活にはかなり困窮しています。起業は必ずしもお薦めできるものではありませんので、そのあたりの現実も教えてくれて、他の道(企業との共同研究や社内の新規事業)も提示してくれるEDGEプログラムは貴重な存在だと思います。

## Q33:その他、EDGE/EDGE-NEXTについての感想などがございましたら教えてください。

Answered: 19 Skipped: 33

- 研究内容を事業化するにあたり、どのように課題を発見し、解決に導いていくのか理解できた。まだ経験不足のため、すぐには起業できないが、本プログラムで学んだことを事業開発に生かしていきたい。
- 財務リターン、社会的インパクト、教育的効果の3つについて学校法人立命館でリサーチを始めようとしています。ぜひ興味がありましたら連絡頂けると幸いです。
- 私個人としては、おそらくこれから高校の総合的な探究の授業など高校にEDGEのようなイノベーション教育の可能性、必要性を強く感じています。立命館系列の付属校でそのようなEDGE-JUNIORのモデルを作り始めようとしています。どうぞよろしくお願い致します。
- プログラムを全体を通してどれも良い経験でしたが、一番良かったのは、様々な分野の方々との繋がりができたことです。今の仕事に生きています。
- 普段の業務では出会えない人との繋がりを築くことができ、とても有意義なプログラムでした。また企業間同士での初の事例となることができ、良いロールモデルになれたと認識しています。今後も幅広いパターンでのオープンイノベーションの場になることを祈願しております。ありがとうございました。



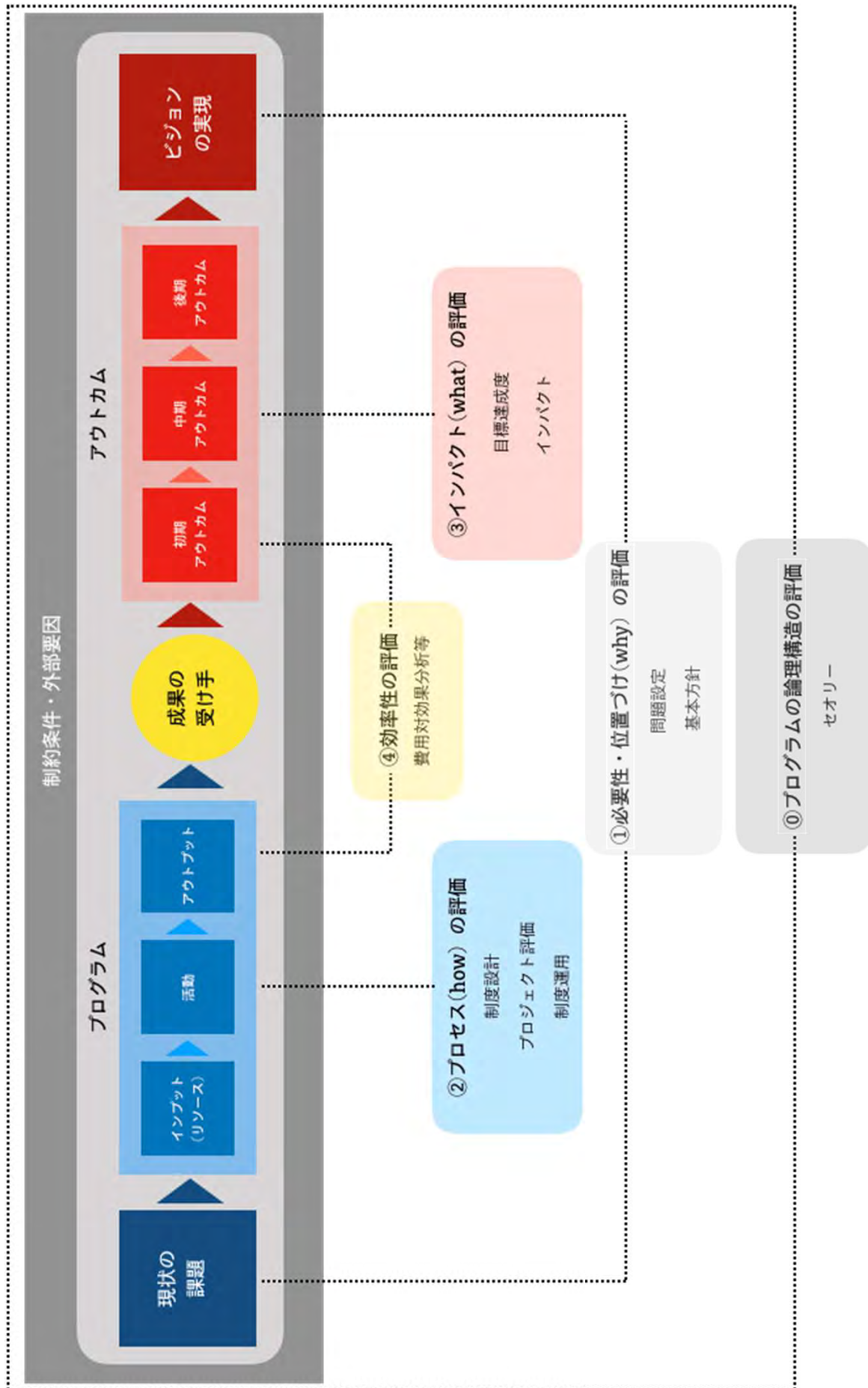


図 2-1 標準的なロジックモデル

(出典) 科学コミュニケーション研究所 (2020)

# Xをめぐる政策におけるプログラムの位置づけ

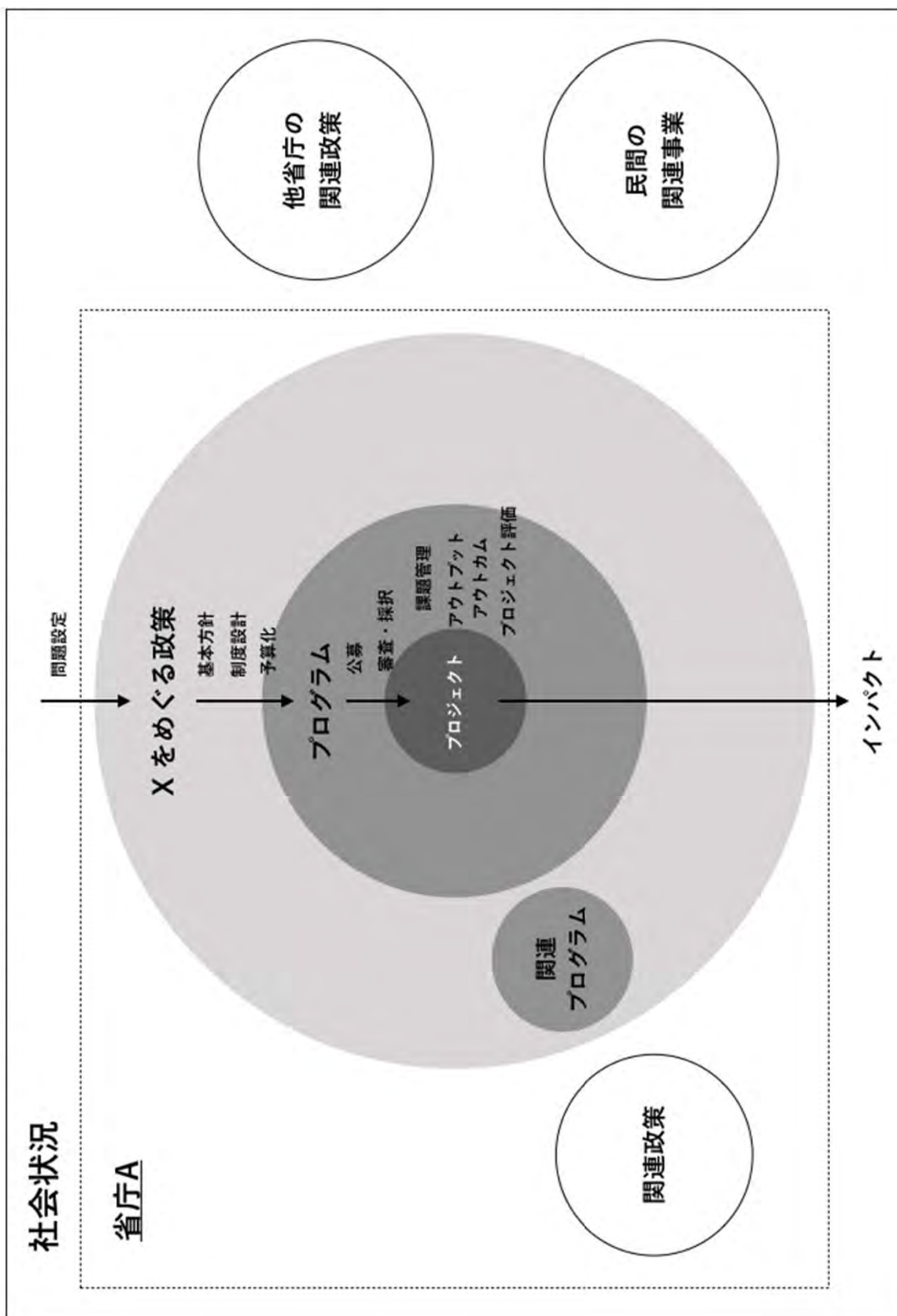
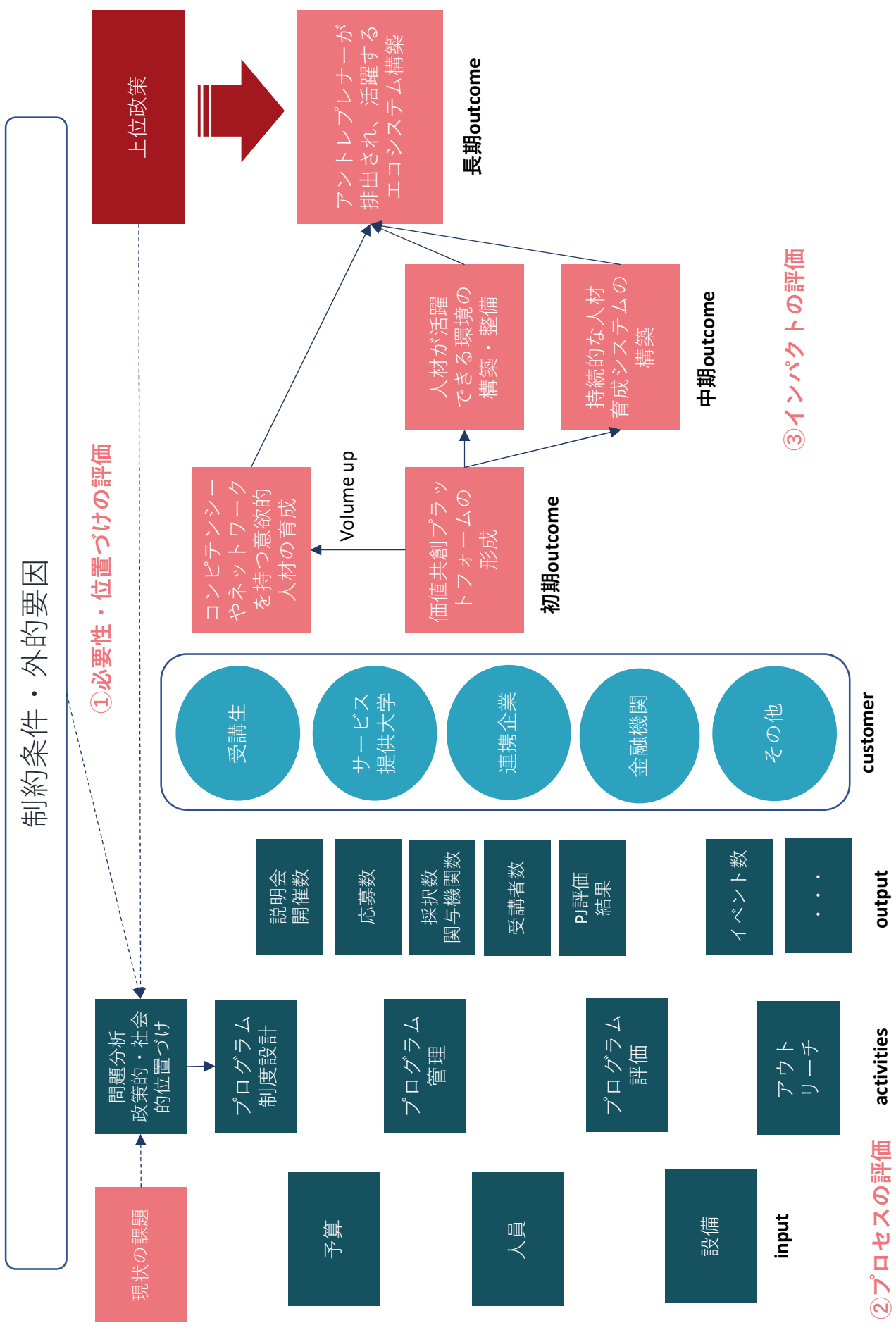


図 2-2 プログラムの位置づけ

(出典) 科学コミュニケーション研究所 (2020)



②プロセスの評価

図 4-1 「EDGEプログラム/EDGE-NEXT」事業のプログラムレベルのロジックモデル



## 手順 プロセス

- 1 政策文書等をもとに、受講生が目指す多様な活躍の場（ゴールイメージ）を設定する。(A)
- 2 既存文献等をもとに、ゴール達成に求められるコンピテンシー（知識・スキル・態度）を仮説として定義する。(B)
- 3 プロジェクトのアウトプットは、受講者数や実施機関数などの指標で把握する。(C)
- 4 各大学等による取組の結果、カスタマーである受講生の1) 意欲が向上したか（意識変容）、2) 必要なコンピテンシーを習得できたか、3) ネットワークが形成されたかといった「内的変化」を初期アウトカムとして設定する。(D)
- 5 4の内的変化をうけて、受講生が目指すゴールに向けて、どのような行動変化を起こしたか（「外的変化」）を中期アウトカムとして設定する。(E)
- 6 各受講生が行動変化を通じてゴールにどれくらい近づけたか、「目標の達成」状況を最終アウトカムとして設定する。(F)
- 7 目標を達成した結果、立ち上げた事業などがどれくらいの効果（売上等）をあげているかといった「インパクト」もあわせて把握する。(G)
- 8 上記アウトカム（「内的変化」、「外的変化（行動）」、「目標の達成」）、ならびに、「インパクト」を把握し、それぞれの段階における阻害要因・促進要因を分析、上位の「新たな政策の立案」・「既存政策の修正」等を実施する。(H)

表 4-2 ロジックモデル（人材育成に関わるプロジェクトレベル）作成・利用方針（案）

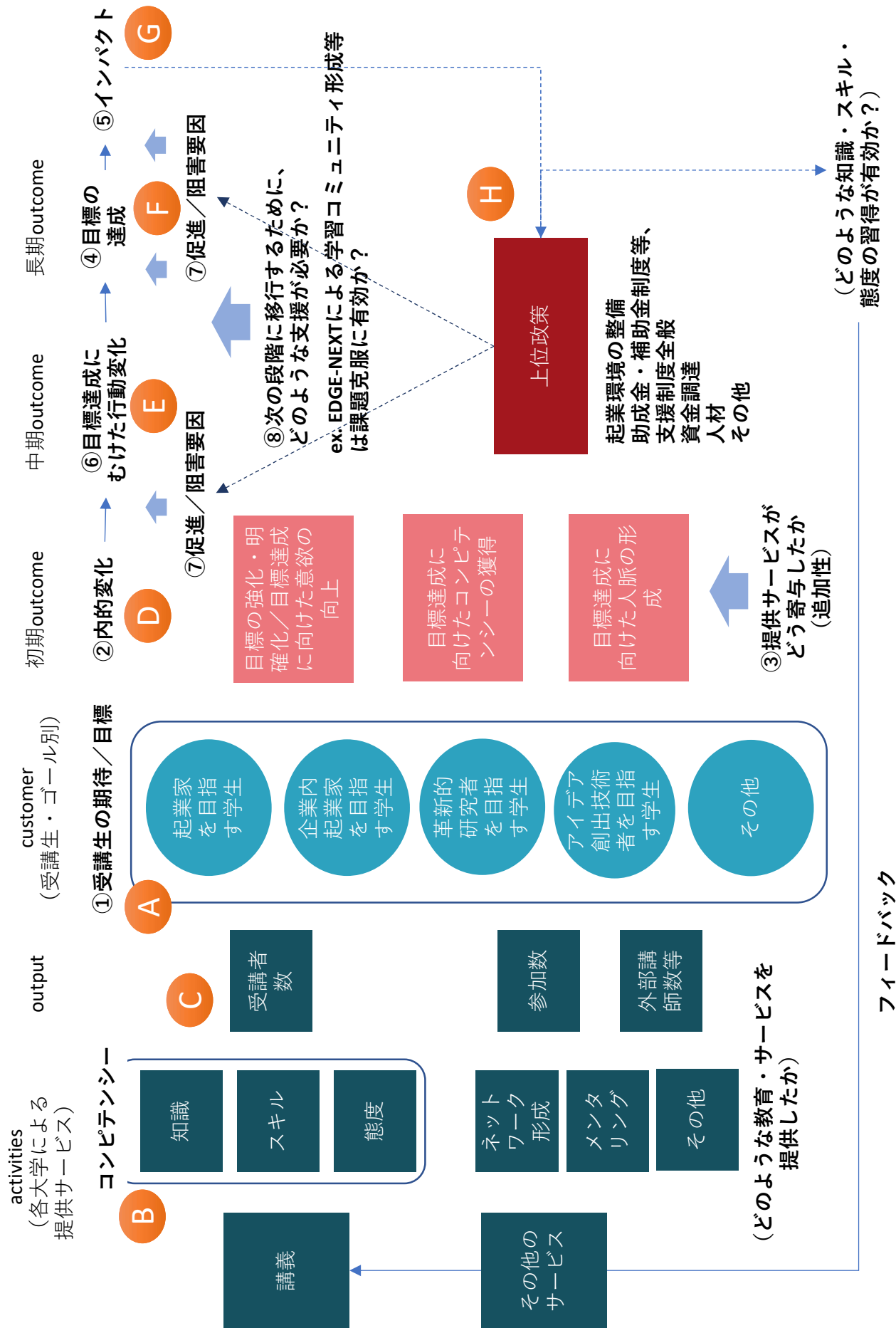


図 4-2 「EDGEプログラム／EDGE-NEXT」事業のプロジェクトレベルのロジックモデル(案)

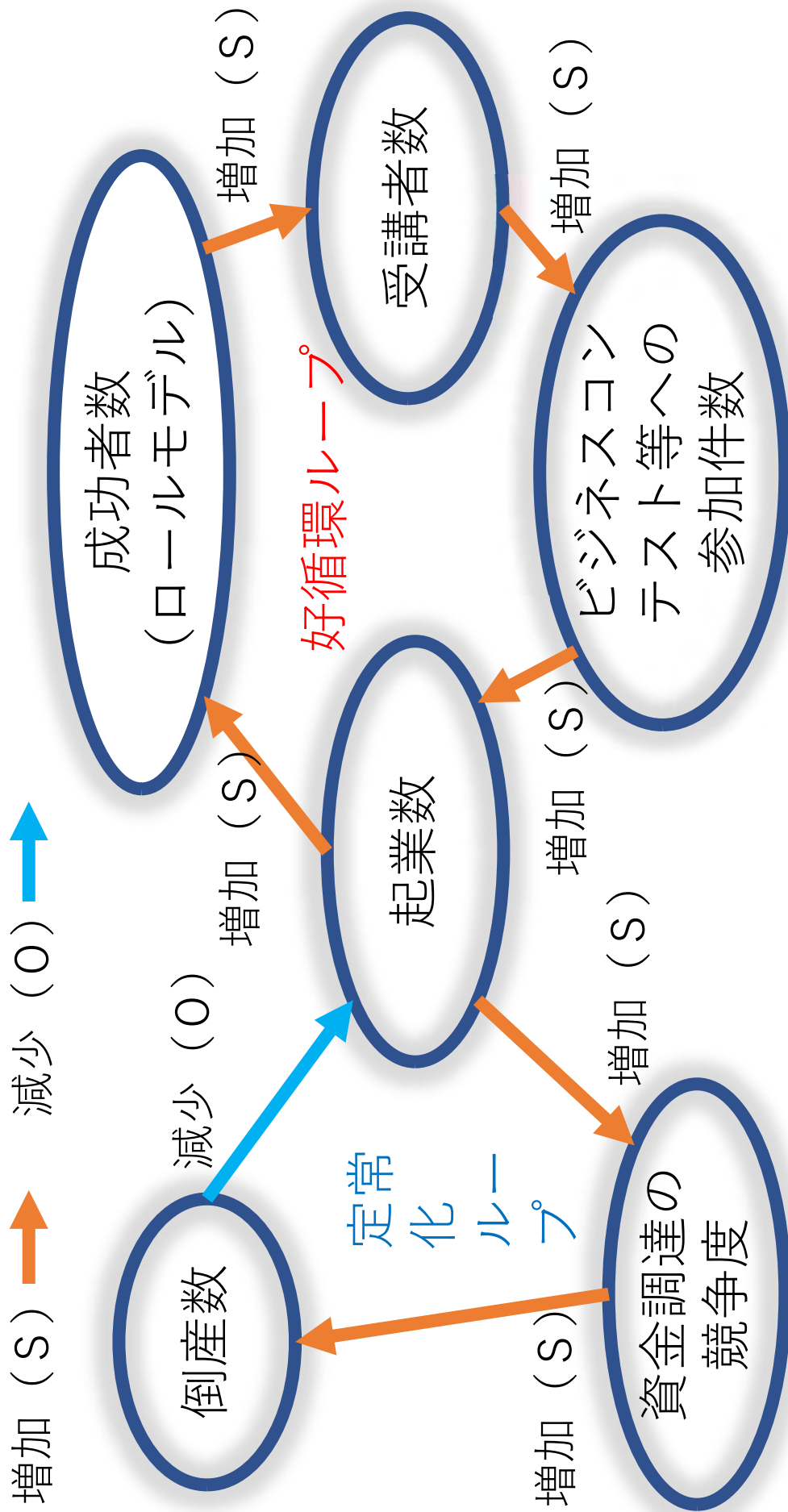


図 4-4 因果ループ図の提案 (例)

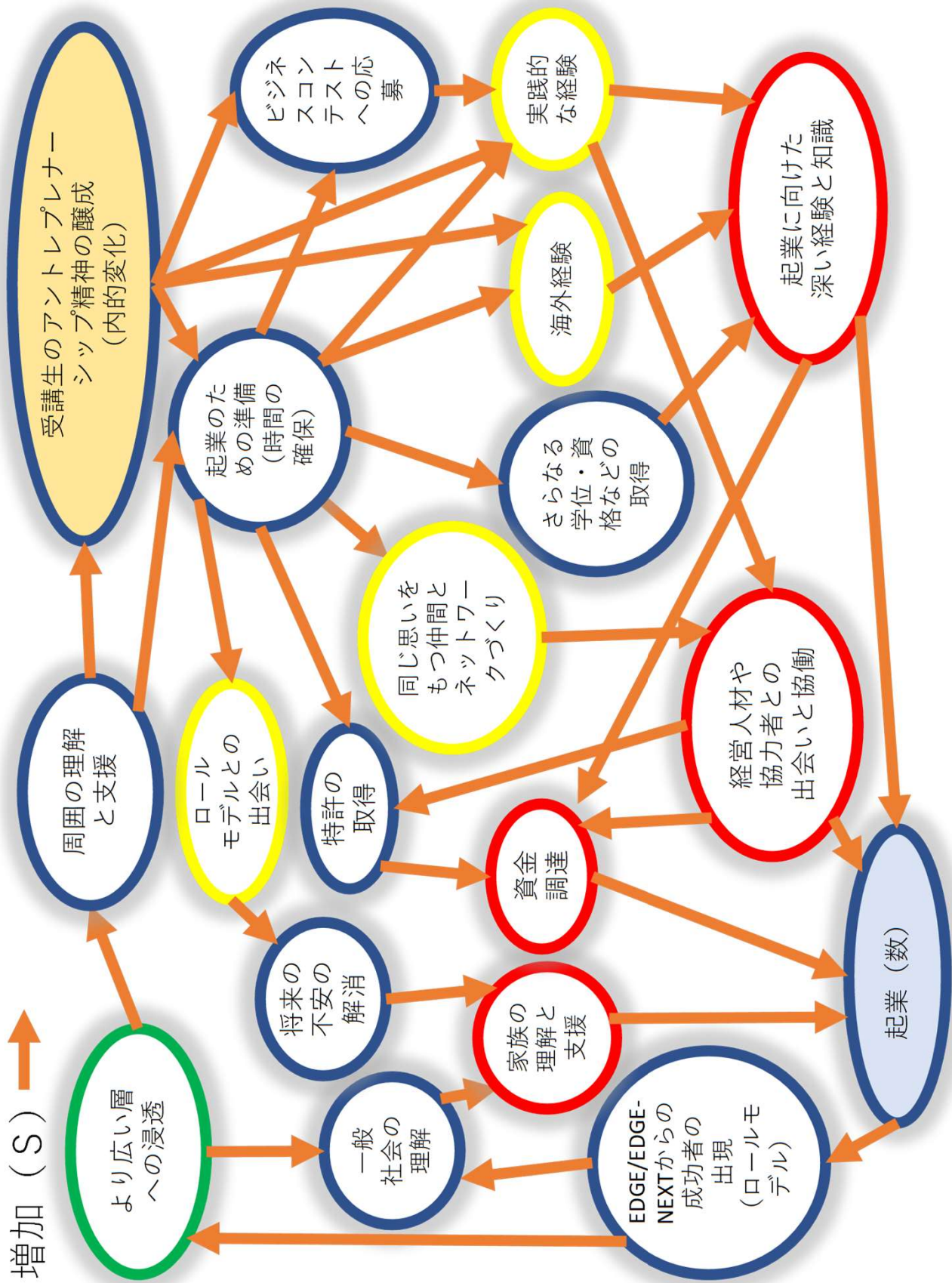


図 5-2 因果ループ図 (本調査をもととした仮説)

**【奥付】**

令和元年度文部科学省における基本的な政策の立案・評価に関する調査研究  
(成果を測ることが難しい分野へのEBPM的手法を導入する際に有用となる  
データ採取及び分析方法等について) 調査報告書

発行；2020年3月

一般社団法人知識流動システム研究所